



2015年3月期 第2四半期 決算説明会

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

2014年11月7日

- 決算概要（連結・単体）
- 事業の動向
- 重点施策とトピックス

連結決算概要

連結決算のポイント

- ◆ 2015年3月期第2四半期は、予想を上回る水準を達成
- ◆ 連結売上高276億円は、第2四半期として**過去最高**
- ◆ 累計売上高は前年同期比**18%増**、
営業利益は前年同期比**72%増**
- ◆ **博報堂DYグループ**向け売上が好調で**単体利益は大幅増**
- ◆ **グループ各社**では、博報堂アイ・スタジオ、北京DACが**好調**

連結決算ハイライト：売上高・営業利益共に前年同期比増加

(百万円)

	2015年3月期 2Q			
	四半期 (2014/7~2014/9)		累計 (2014/4~2014/9)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	27,657	117.4%	57,046	118.0%
売上総利益	3,877	113.5%	7,797	116.6%
営業利益	488	134.8%	1,098	172.3%
四半期純利益	221	22.3%	572	56.7%
EBITDA	694	123.4%	1,497	145.6%
OM率 (※)	12.6%	+2.0pt	14.1%	+4.6pt

(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

業績予想と結果（連結）：予想を上回る結果

(百万円)

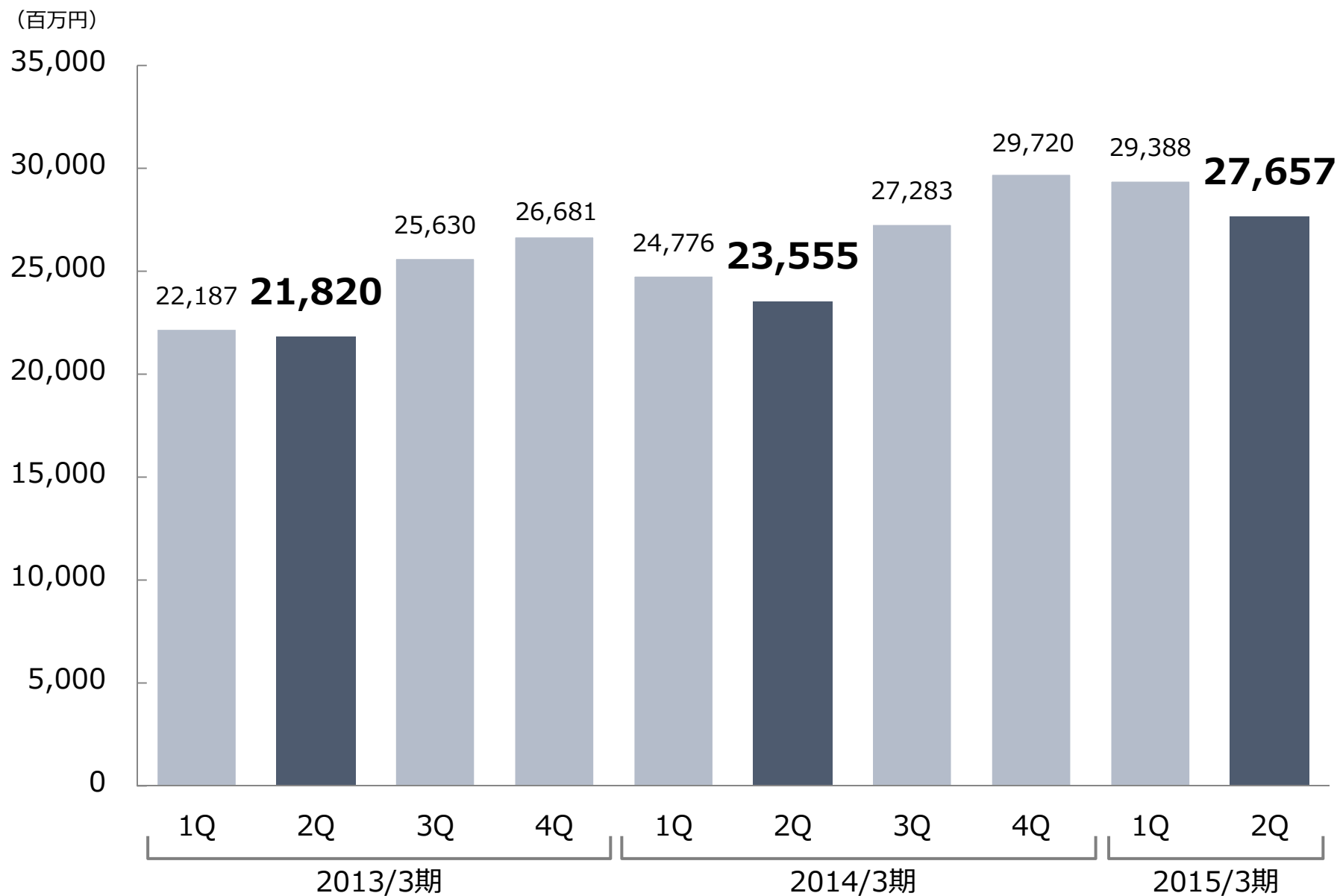
【累計】

	2015年3月期 2Q (2014/4~2014/9)				
	予想			実績	前年同期比
売上高	53,650	~	56,477	57,046	118.0%
営業利益	976	~	1,051	1,098	172.3%
経常利益	983	~	1,058	1,105	168.8%
当期純利益	473	~	526	572	56.7%
1株当たり純利益 (円)	9.75	~	10.83	11.80	—

【四半期】

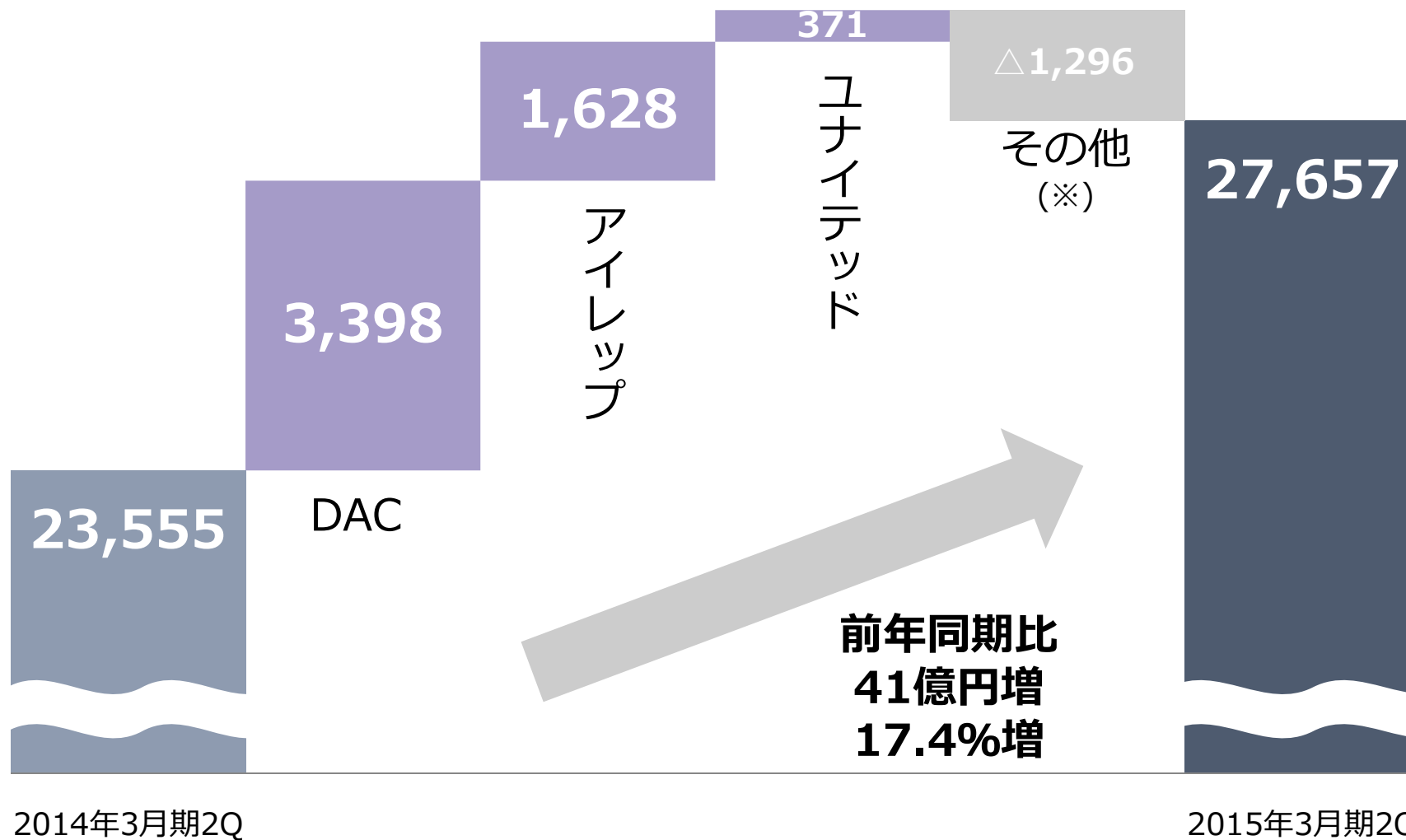
	2015年3月期 2Q (2014/7~2014/9)				
	予想			実績	前年同期比
売上高	24,261	~	27,088	27,657	117.4%
営業利益	366	~	441	488	134.8%
経常利益	373	~	448	525	141.4%
四半期純利益	91	~	144	221	22.3%

売上高の推移（連結）：2Qとして過去最高



売上高 対前年同期比 増減要因

(単位：百万円)

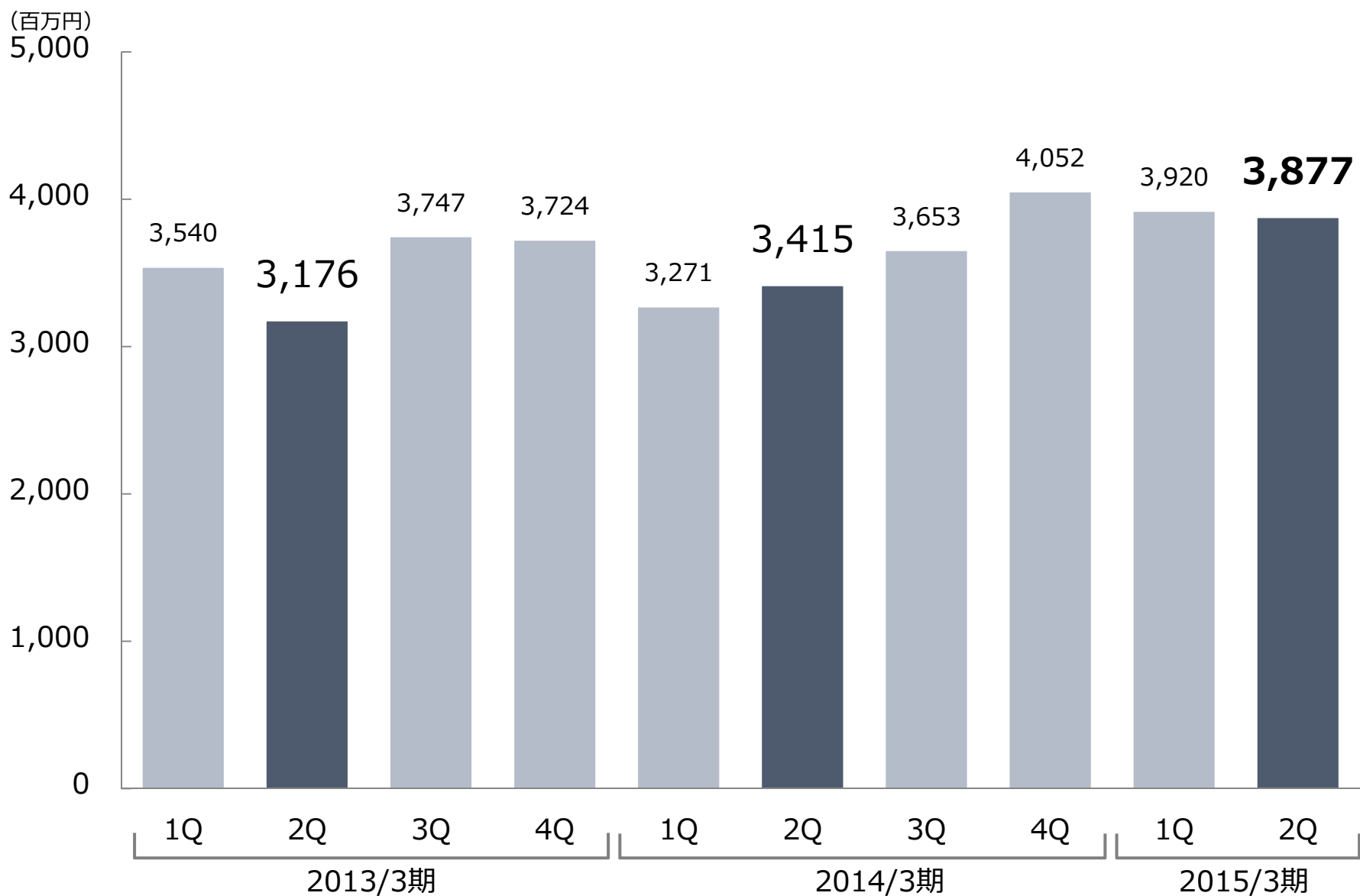


2014年3月期2Q

2015年3月期2Q

(※) その他には、グループ間取引消去が含まれています。

売上総利益の推移（連結）：2Qとして過去最高



事業領域別の状況（連結）

売上高	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	48,293	99.8	57,039	99.8	118.1
エージェントソリューション	43,315	89.5	51,726	90.5	119.4
メディアソリューション (※)	5,939	12.3	6,502	11.4	109.5
ソリューション間消去	△960	-2.0	△1,189	-2.1	—
インベストメント事業	104	0.2	87	0.2	83.1
合計	48,398	100.0	57,126	100.0	118.0

売上総利益	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	6,632	99.2	7,720	99.0	116.4
エージェントソリューション	4,135	61.8	5,043	64.7	122.0
メディアソリューション (※)	2,537	37.9	2,825	36.2	111.4
ソリューション間消去	△40	-0.6	△149	-1.9	—
インベストメント事業	54	0.8	77	1.0	142.9
合計	6,686	100.0	7,797	100.0	116.6

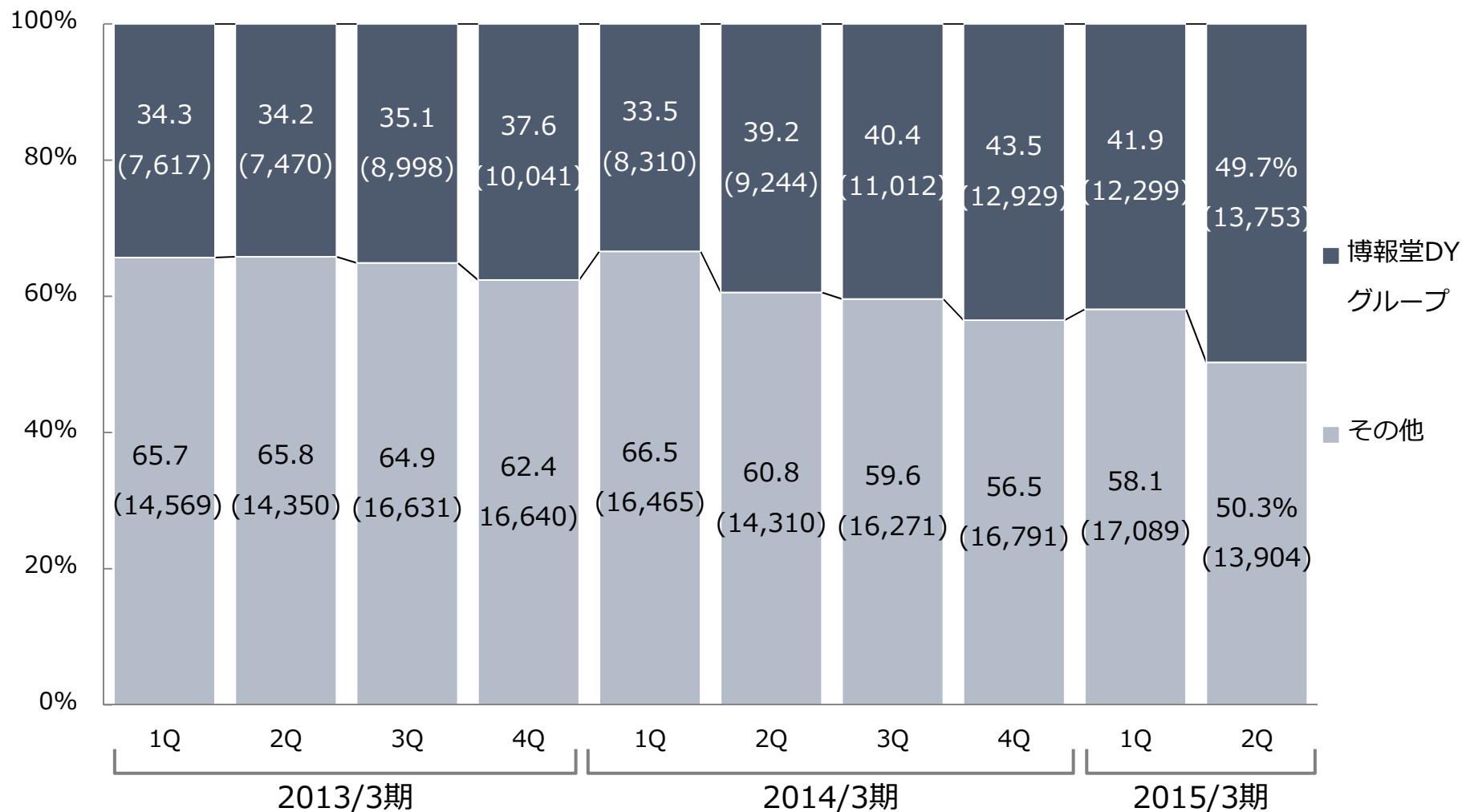
(※) メディアソリューションに含まれるメディア売上高について、エージェントソリューションとの比較のために売上高をグロス数値に換算しているため、会計上の数値とは異なります。

広告会社別の売上高（連結）

	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
博報堂D Yグループ	17,555	36.3	26,052	45.7	148.4
その他	30,776	63.7	30,994	54.3	100.7
合計	48,332	100.0	57,046	100.0	118.0

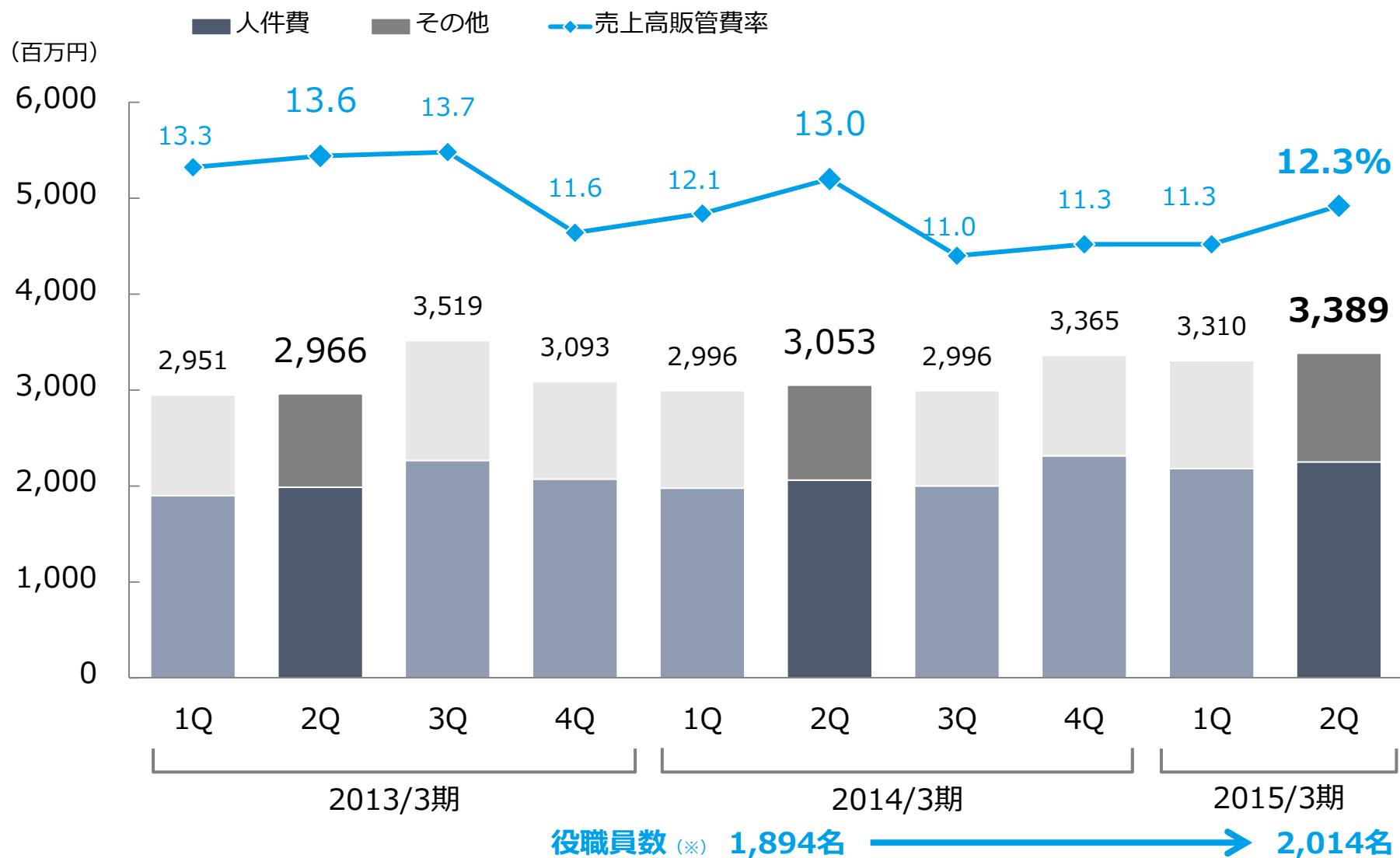
広告会社別売上高 構成比推移 (連結)

(単位：% / 百万円)



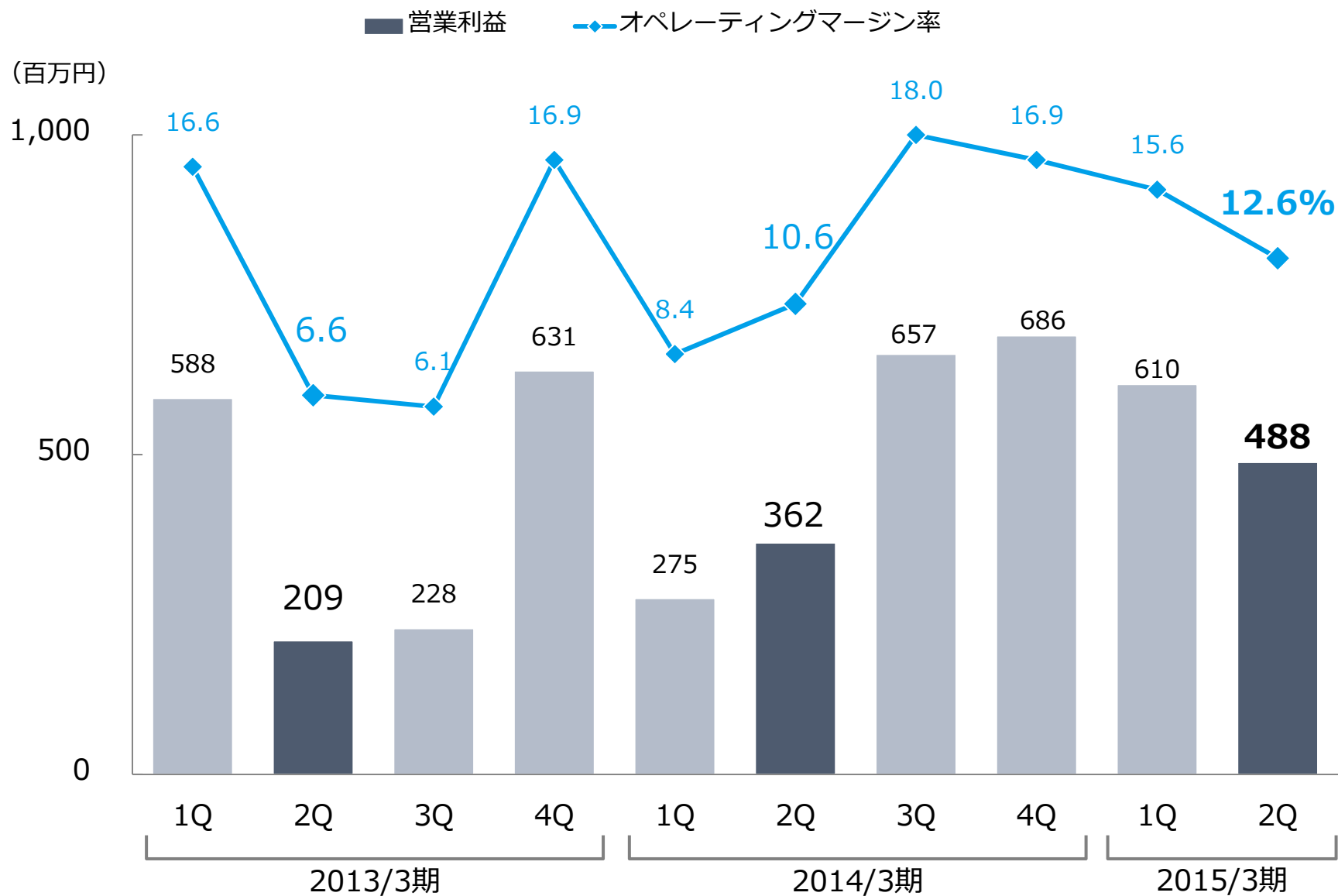
(※) カッコ内は四半期ごとの広告会社別売上高の数値

販管費の推移（連結）

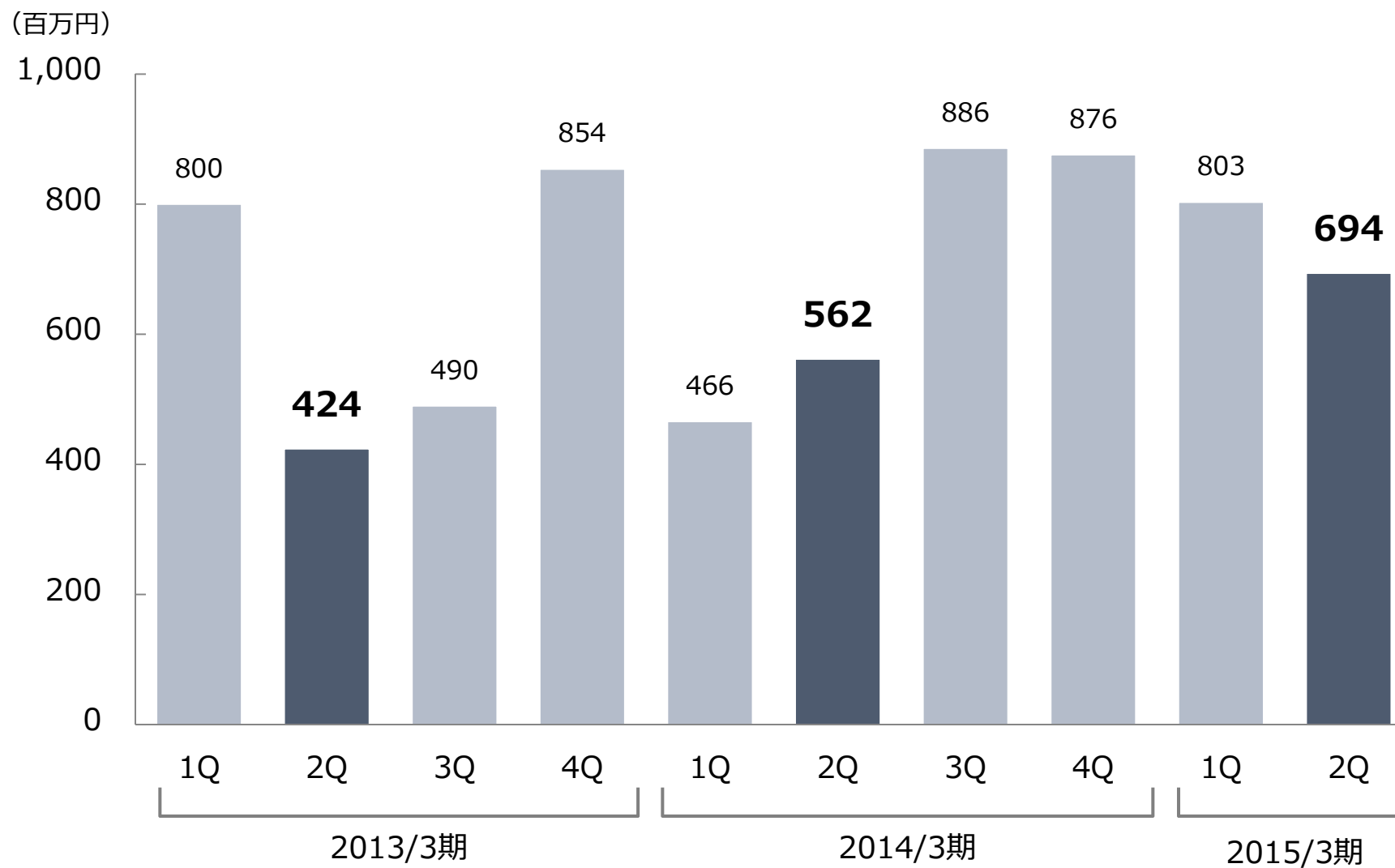


(※) 当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数

営業利益の推移（連結）



EBITDAの推移（連結）：2Qとして過去最高



(※) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

貸借対照表（連結）

	2014年3月期末 (2014/3末)		2015年3月期2Q末 (2014/9末)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)	主な増加/減少要因
流動資産	29,739	79.3	29,058	77.1	97.7	売掛金の減少
固定資産	7,760	20.7	8,622	22.9	111.1	投資有価証券の増加
資産合計	37,499	100.0	37,681	100.0	100.5	
流動負債	16,829	44.9	16,028	42.5	95.2	買掛金の減少
固定負債	624	1.7	581	1.5	93.1	長期借入金の減少
負債合計	17,454	46.5	16,609	44.1	95.2	
株主資本	12,764	34.0	13,045	34.6	102.2	利益剰余金の増加
少数株主持分	6,433	17.2	7,196	19.1	111.9	
その他	846	2.3	829	2.2	97.9	新株予約権の減少
純資産合計	20,045	53.5	21,071	55.9	105.1	
負債・純資産合計	37,499	100.0	37,681	100.0	100.5	

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(百万円)

	2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額	281
現金及び現金同等物の期首残高	9,982
現金及び現金同等物の期末残高	10,263

■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前四半期純利益	1,316百万円
・減価償却費	266百万円
・持分変動利益	△157百万円
・法人税等の支払額	△1,087百万円

■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・定期預金の預入・払戻差額	△1,000百万円
・投資有価証券の取得による支出	△571百万円
・差入保証金の差入による支出	△346百万円

■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

・短期借入金の増加	1,000百万円
・新株予約権の行使による株式の発行による収入	389百万円
・配当金の支払額	△291百万円

2015年3月期 第3四半期 業績予想（連結）

(百万円)

【累計】

	2014年3月期3Q (2013/4~2013/12)	2015年3月期3Q (2014/4~2014/12)					
	実績	予想			前年同期比		
売上高	75,615	86,809	～	87,647	114.8%	～	115.9%
営業利益	1,294	1,513	～	1,756	116.9%	～	135.7%
経常利益	1,304	1,585	～	1,828	121.5%	～	140.1%
当期純利益	1,129	666	～	729	59.0%	～	64.5%

【四半期】

	2014年3月期3Q (2013/10~2013/12)	2015年3月期3Q (2014/10~2014/12)					
	実績	予想			前年同期比		
売上高	27,283	29,763	～	30,600	109.1%	～	112.2%
営業利益	657	414	～	657	63.1%	～	100.1%
経常利益	649	480	～	723	73.9%	～	111.3%
四半期純利益	119	93	～	156	77.8%	～	130.4%

単体決算概要

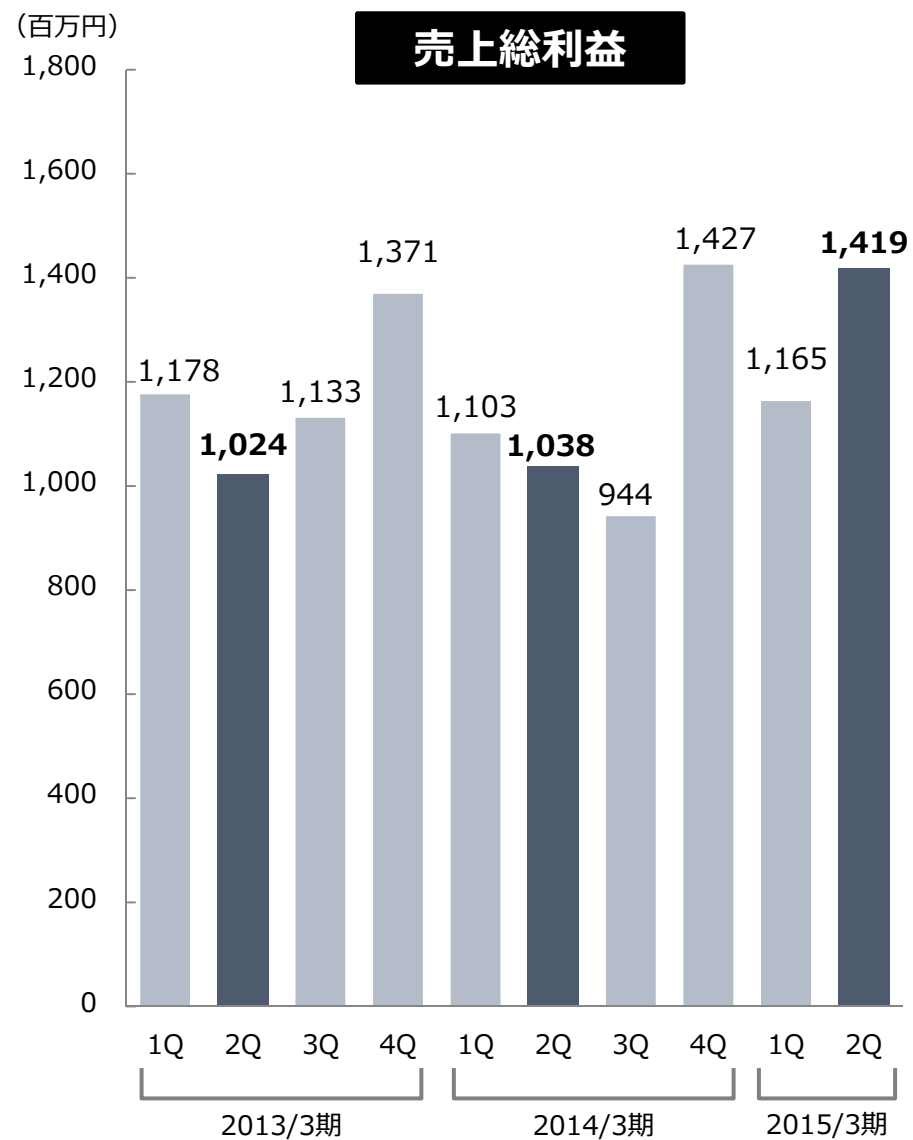
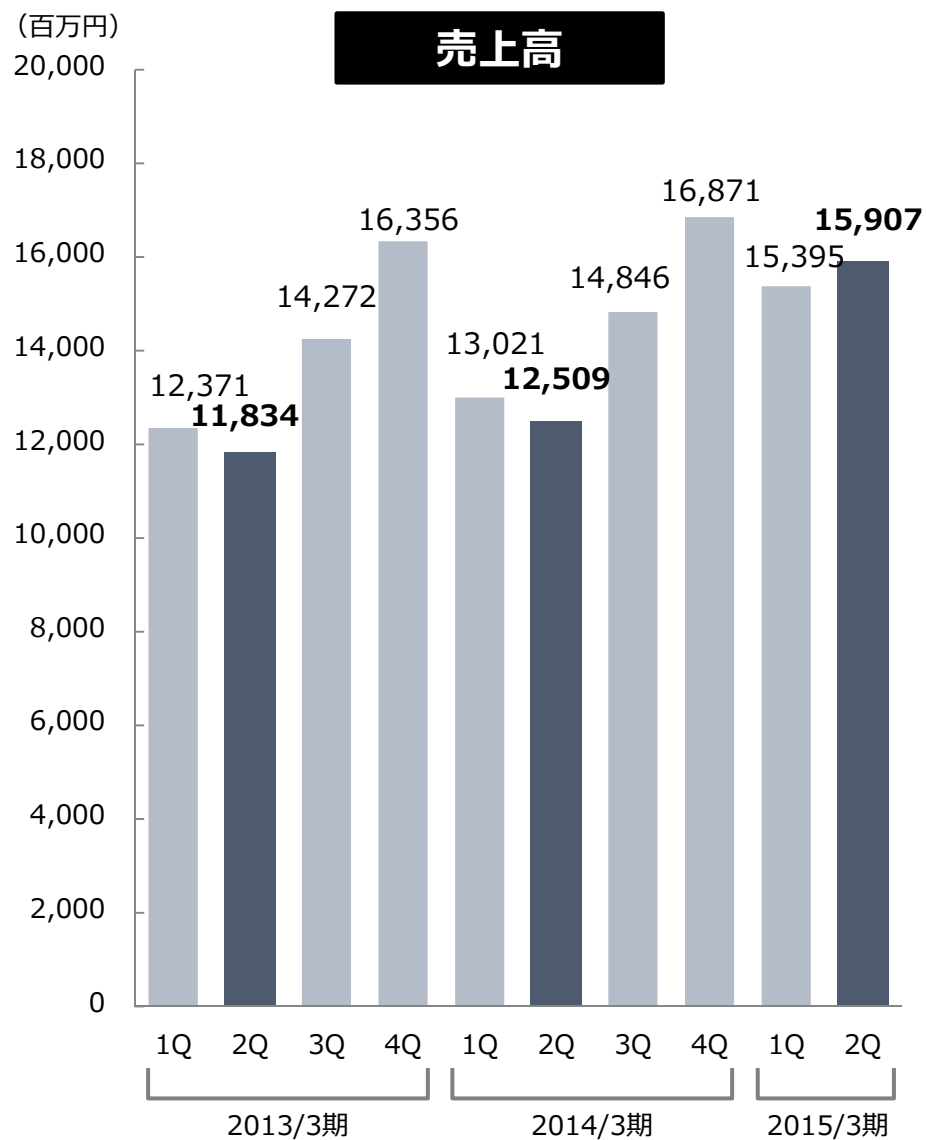
単体決算ハイライト

(百万円)

	2015年3月期 2Q			
	四半期 (2014/7~2014/9)		累計 (2014/4~2014/9)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	15,907	127.2%	31,303	122.6%
売上総利益	1,419	136.6%	2,584	120.7%
営業利益	308	56倍	398	638.0%
四半期純利益	238	157倍	718	645.7%
OM率 (※)	21.7%	+21.2pt	15.4%	+12.5pt

(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

売上高・売上総利益の推移（単体）



サービス別の状況（単体）

売上高	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	24,268	95.1	29,831	95.3	122.9
テクノロジーサービス	1,147	4.5	1,321	4.2	115.2
オペレーションサービス	115	0.5	150	0.5	130.5
合計	25,530	100.0	31,303	100.0	122.6

売上総利益	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	1,601	74.8	1,844	71.4	115.2
テクノロジーサービス	460	21.5	610	23.6	132.6
オペレーションサービス	79	3.7	129	5.0	162.0
合計	2,141	100.0	2,584	100.0	120.7

事業の動向

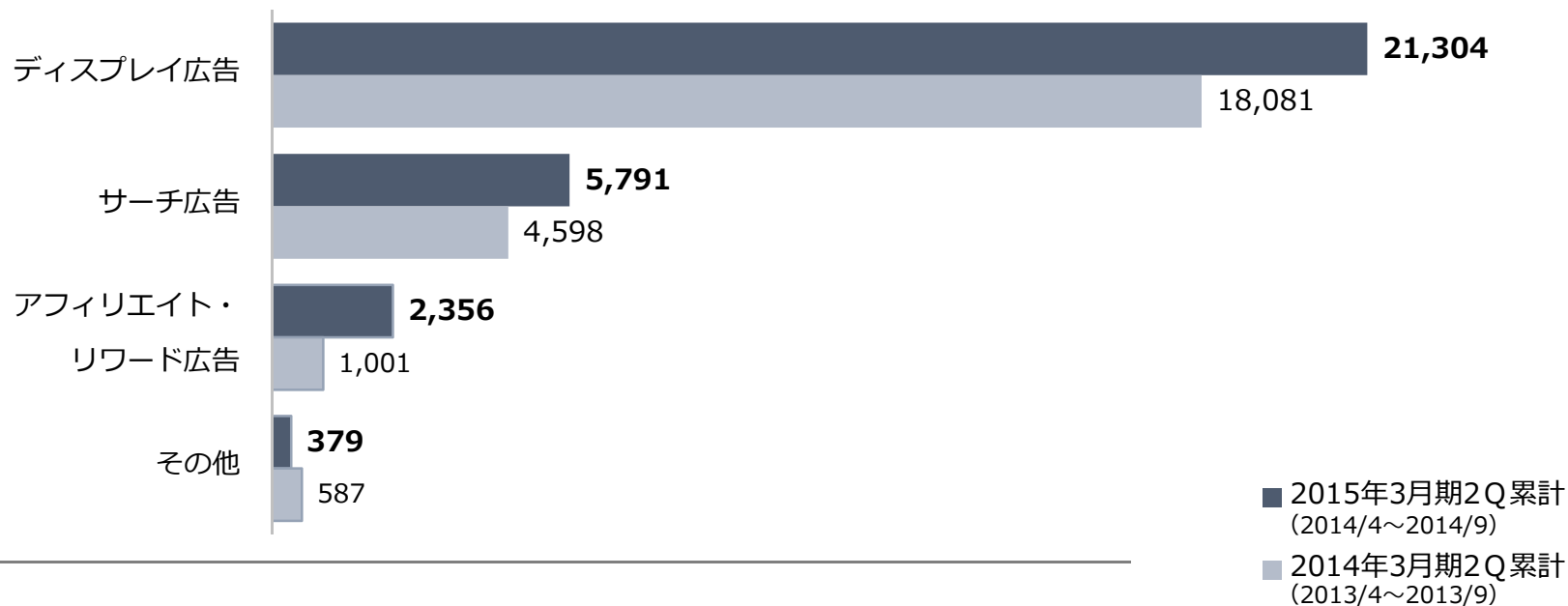
フォーマット別 売上高 (単体)

	2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		2015年3月期2Q (2014/4~2014/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
ディスプレイ広告	18,081	74.5	21,304	71.4	117.8
動画広告	512	2.1	1,506	5.1	293.8
バナー広告・リッチ広告他	17,568	72.4	19,797	66.4	112.7
サーチ広告	4,598	18.9	5,791	19.4	125.9
アフィリエイト・リワード広告	1,001	4.1	2,356	7.9	235.3
その他	587	2.4	379	1.3	64.6
合計	24,268	100.0	29,831	100.0	122.9

フォーマット別売上高 / スマートデバイス広告・運用型広告売上高

◆ フォーマット別売上高 (単体)

(百万円)



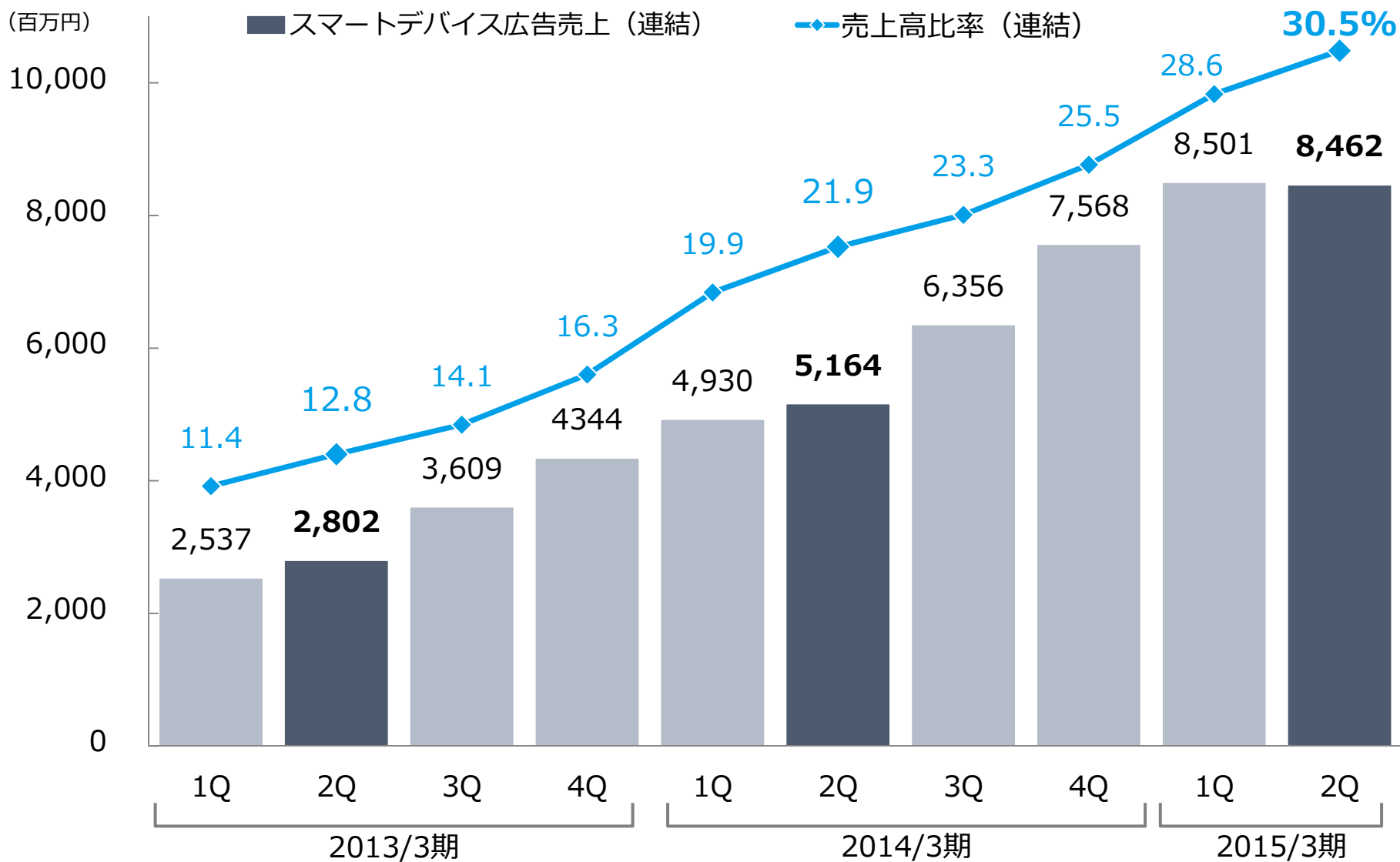
◆ スマートデバイス広告売上高 (連結)



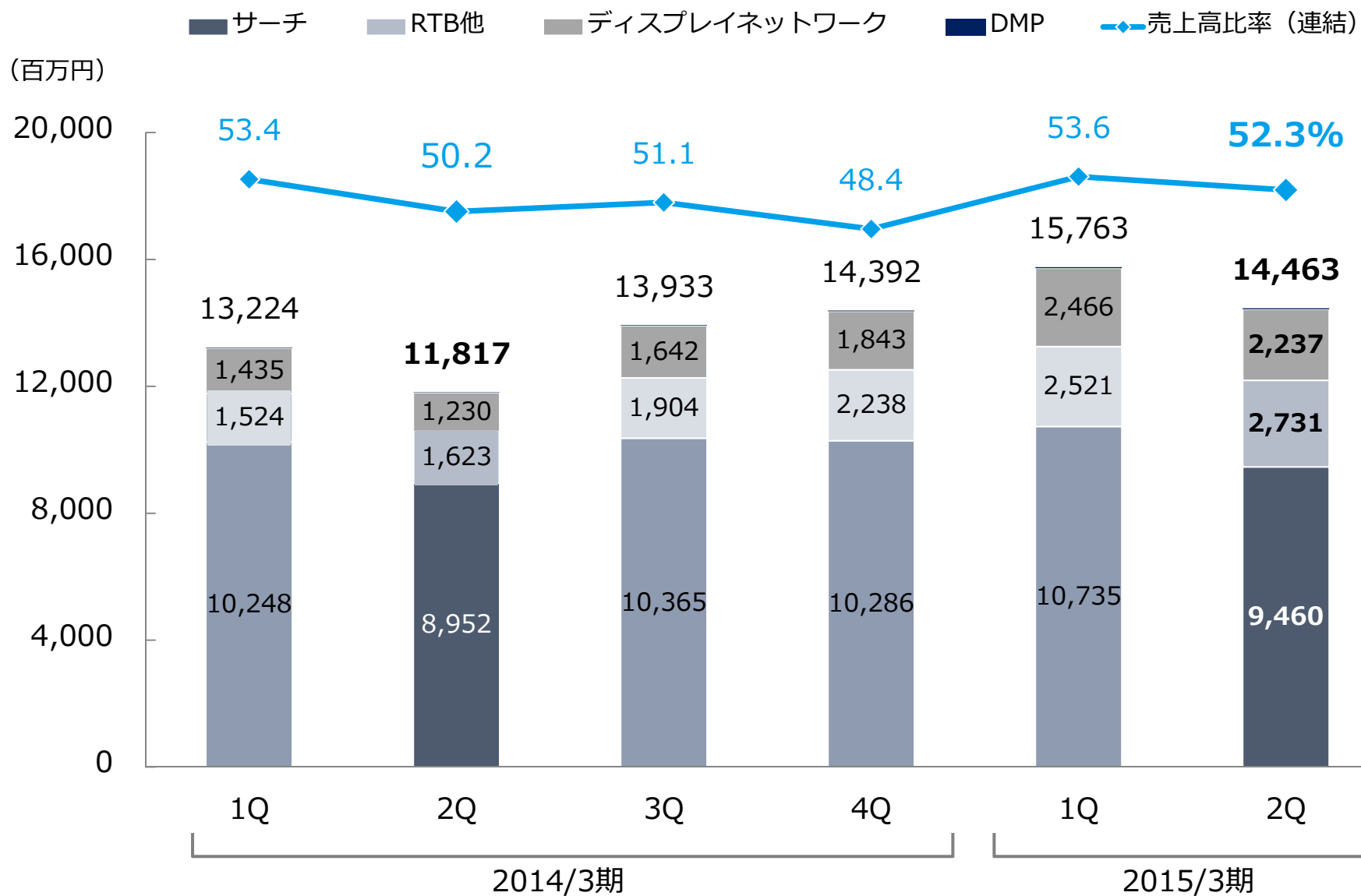
◆ 運用型広告売上高 (連結)



スマートデバイス広告の売上高推移（連結）

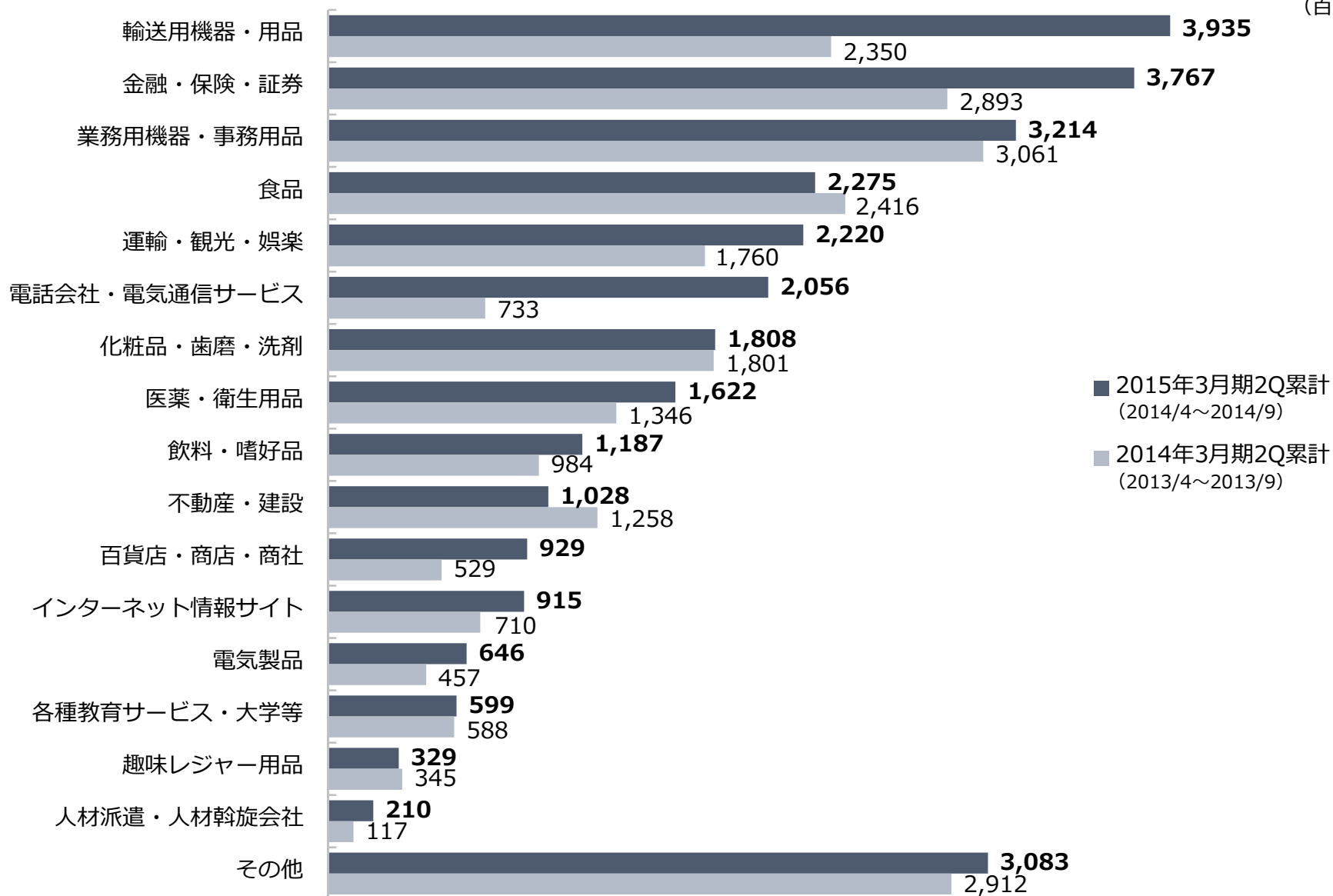


運用型広告の売上高推移（連結）



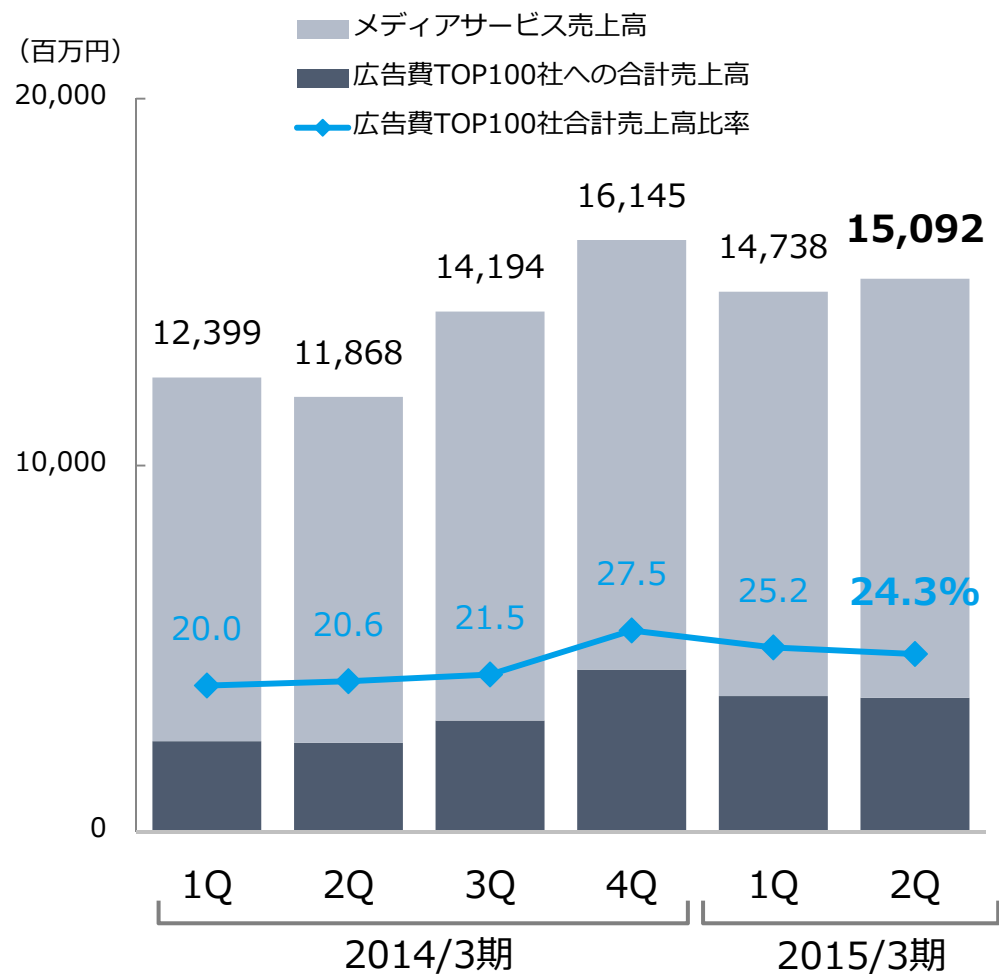
業種別売上高（単体）

（百万円）

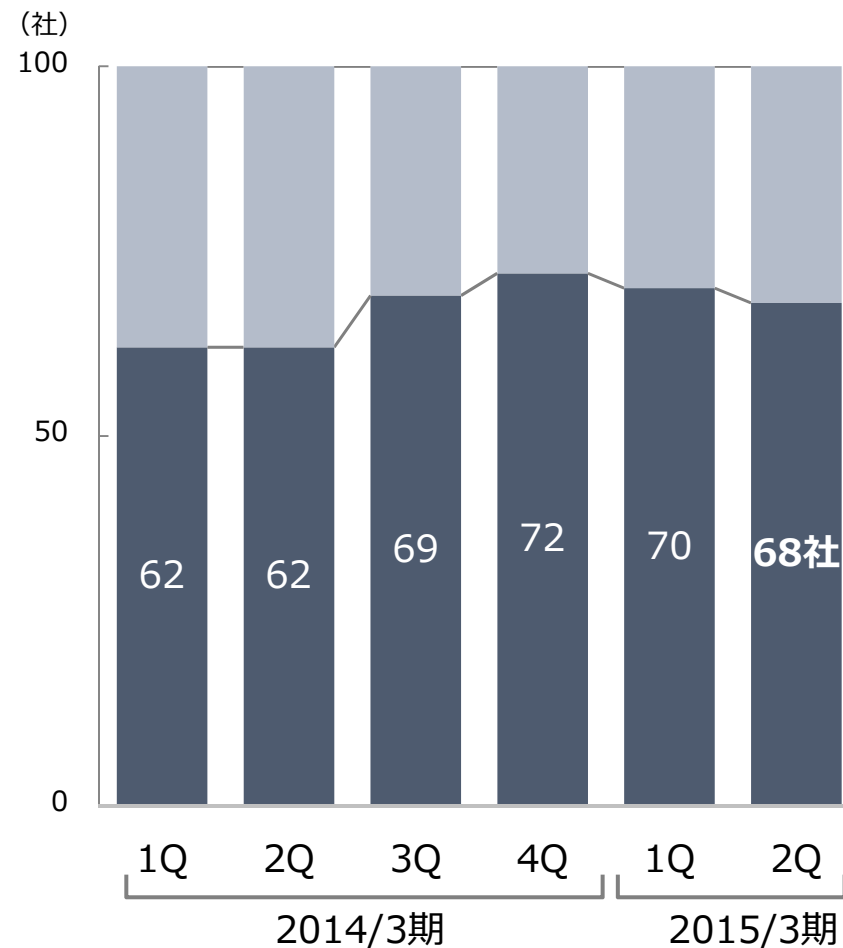


大型広告主の動向

◆ 大型広告主に対する売上高の推移

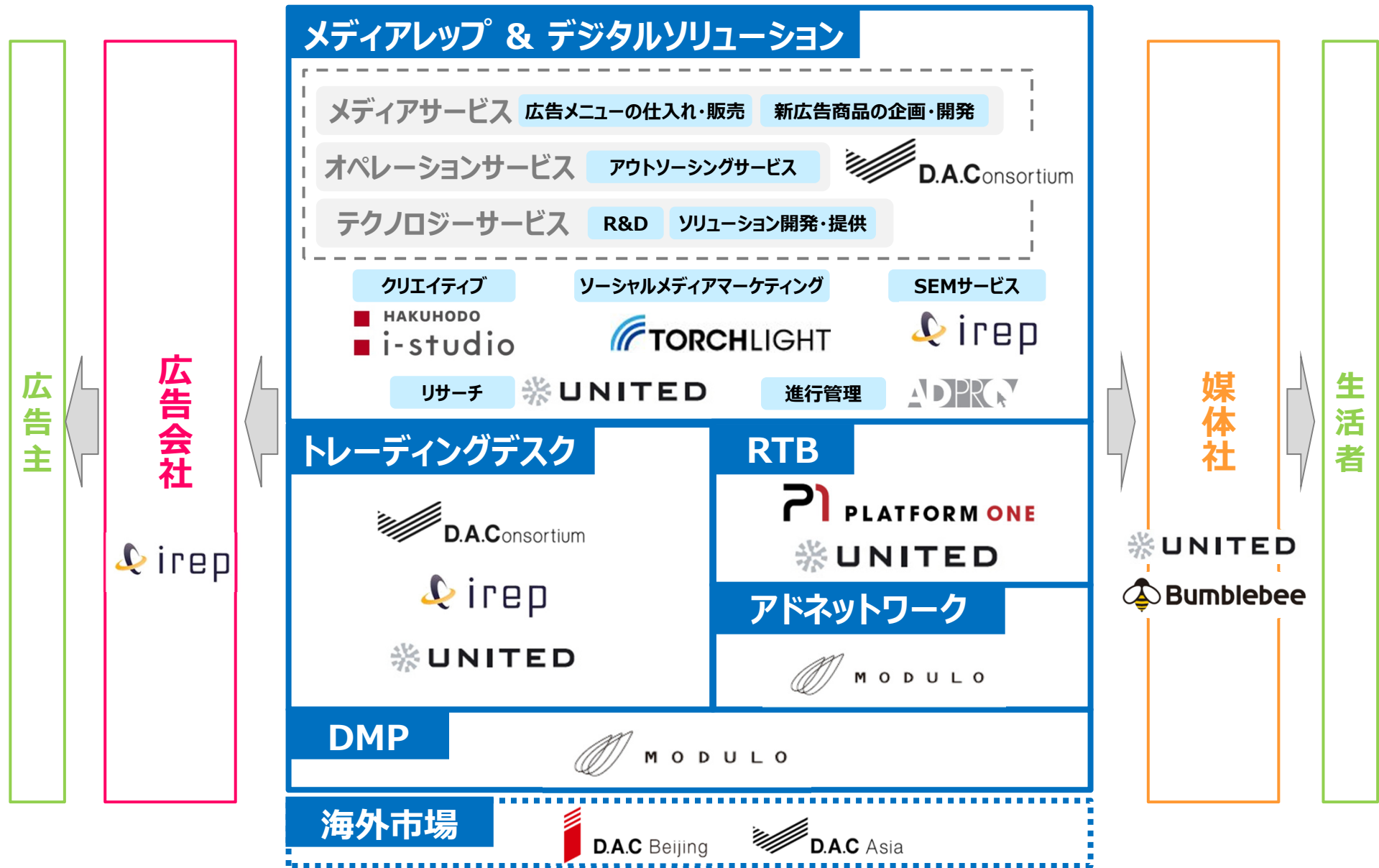


◆ 大型広告主取扱社数の推移






(※) 広告費TOP100社には、日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費」の広告宣伝費上位100社を使用しております。

DACグループのビジネスモデル

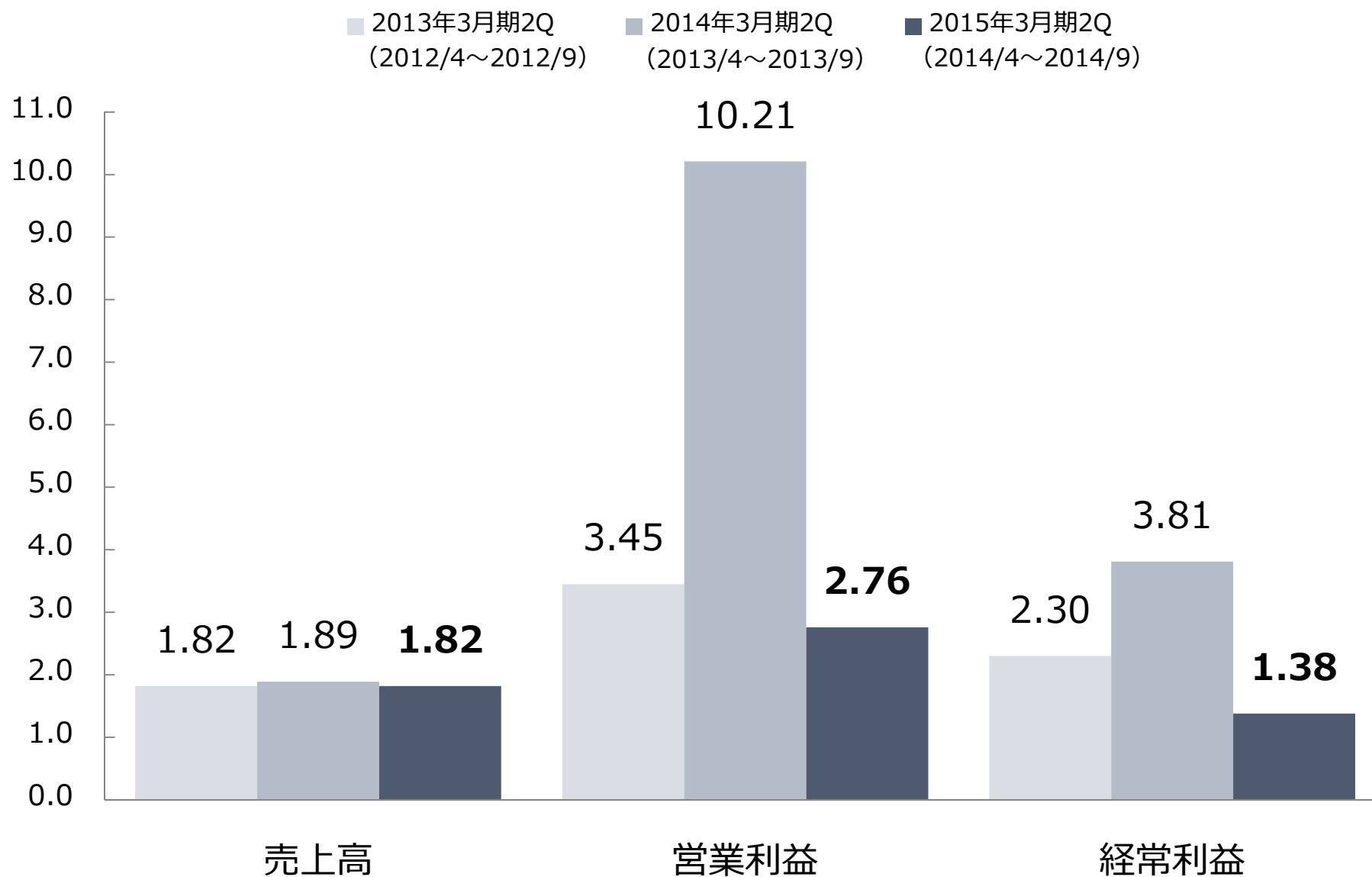


連結子会社の動向

◆ 連結子会社の前年同期比較（累計）

		売上高	営業利益
	アイレップ Agent DAS		
	ユナイテッド Agent Media		
	博報堂アイ・スタジオ DAS		
	プラットフォーム・ワン Agent		
	アド・プロ Agent		
	モデュール DAS		
	トーチライト Agent		
	Bumblebee Media	—	—
	北京迪愛慈广告有限公司 Agent		
	DAC ASIA PTE. LTD. Agent		

連単倍率



重点施策とトピックス

DACグループの成長ドライバー

1

プレミアム広告商品の付加価値化

～最新の広告手法でネット広告業界をリードする～

2

運用型新市場への対応強化

～業界の一步先を行く総合力で市場の拡大を牽引する～

3

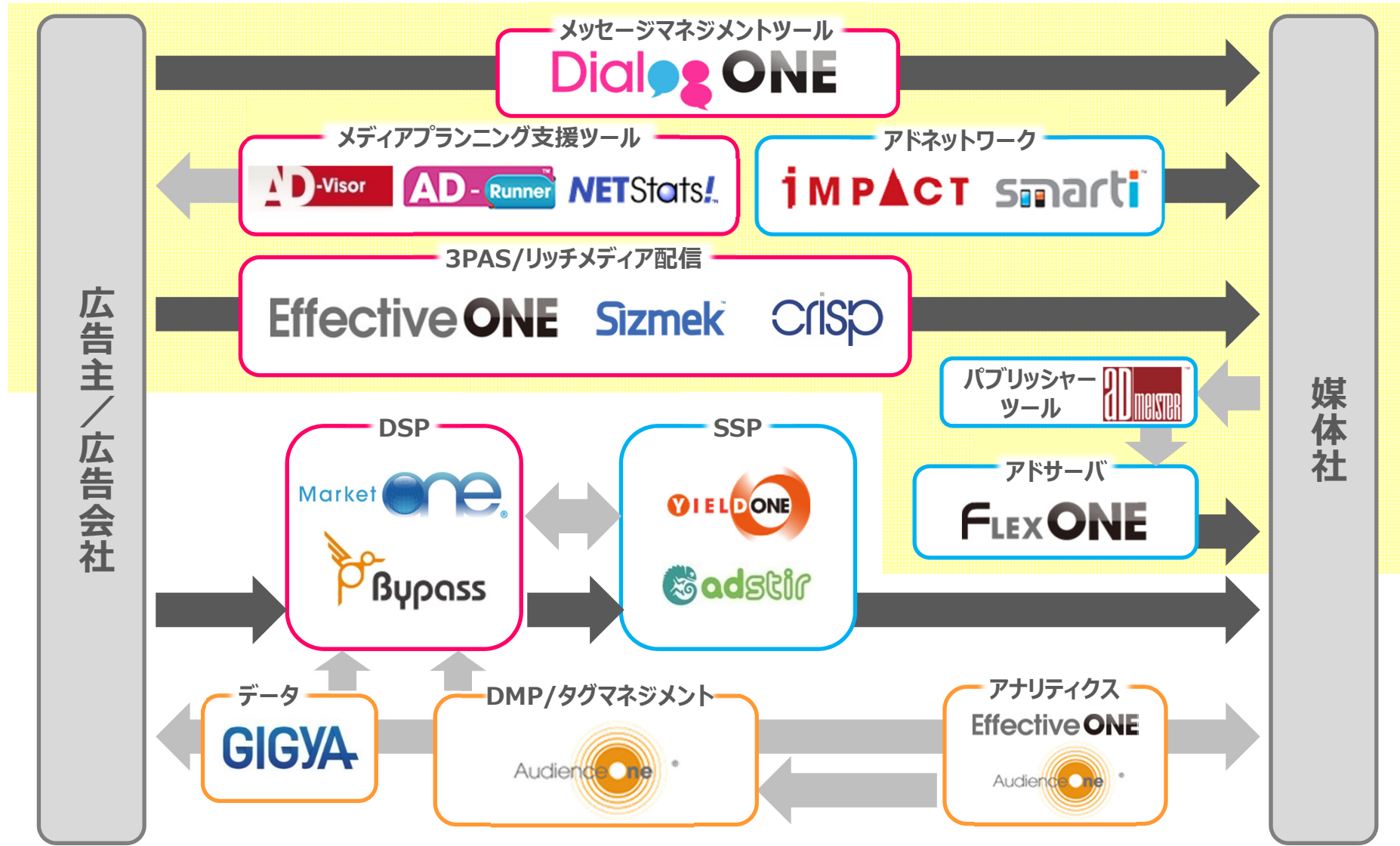
ビッグデータを活用したトータルソリューションの提供

～日本最大規模のマーケティングデータを保有～

1 プレミアム広告商品の付加価値化



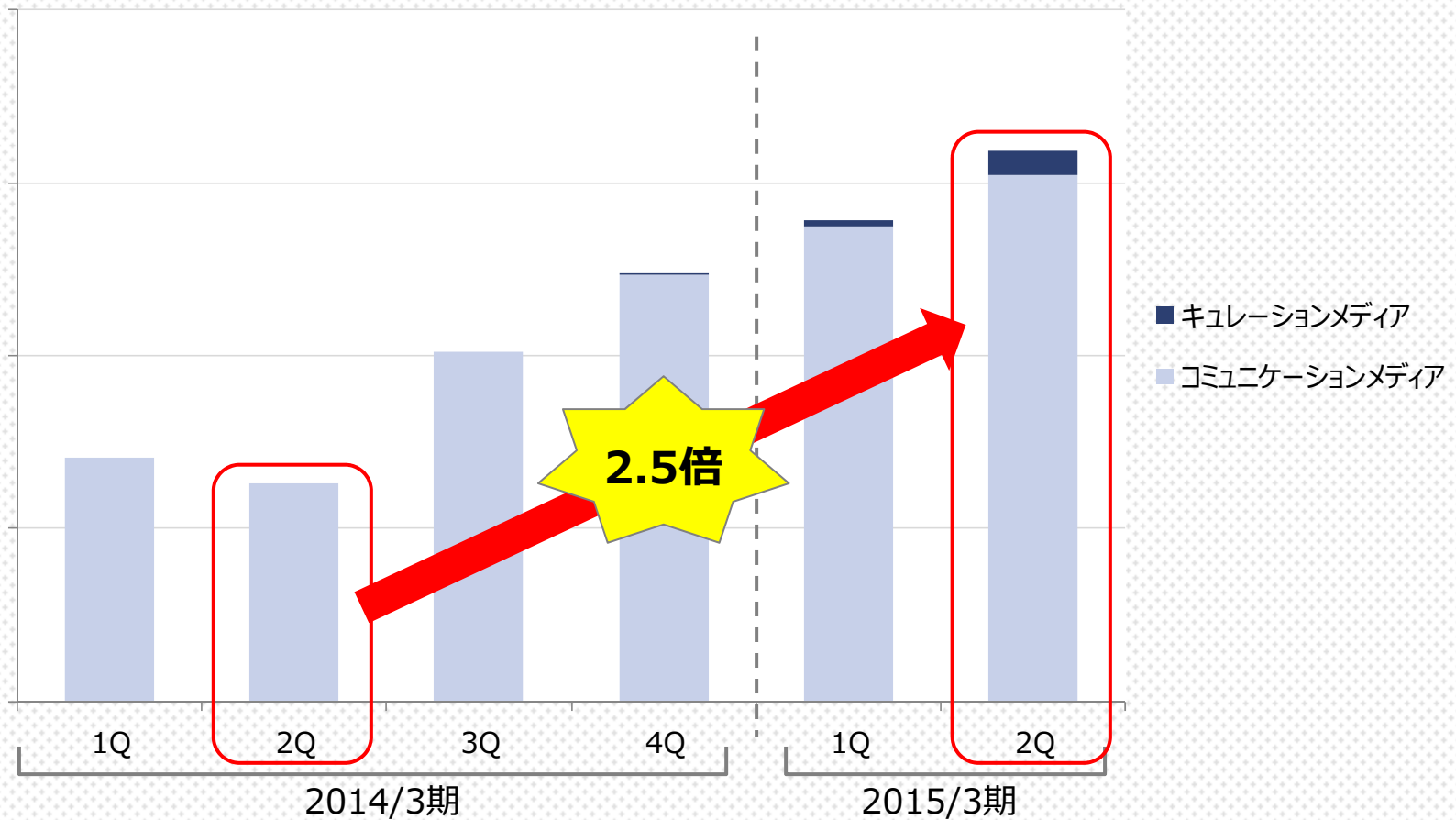
◆ DACグループのアドテクノロジーラインナップ



1 プレミアム広告商品の付加価値化 – 注カプレミアムメディアの拡大

注カプレミアムメディア 売上 (単体)

LINEを中心にコミュニケーションメディアが大きく拡大。
キュレーションメディアへの広告出稿も立ち上がった。

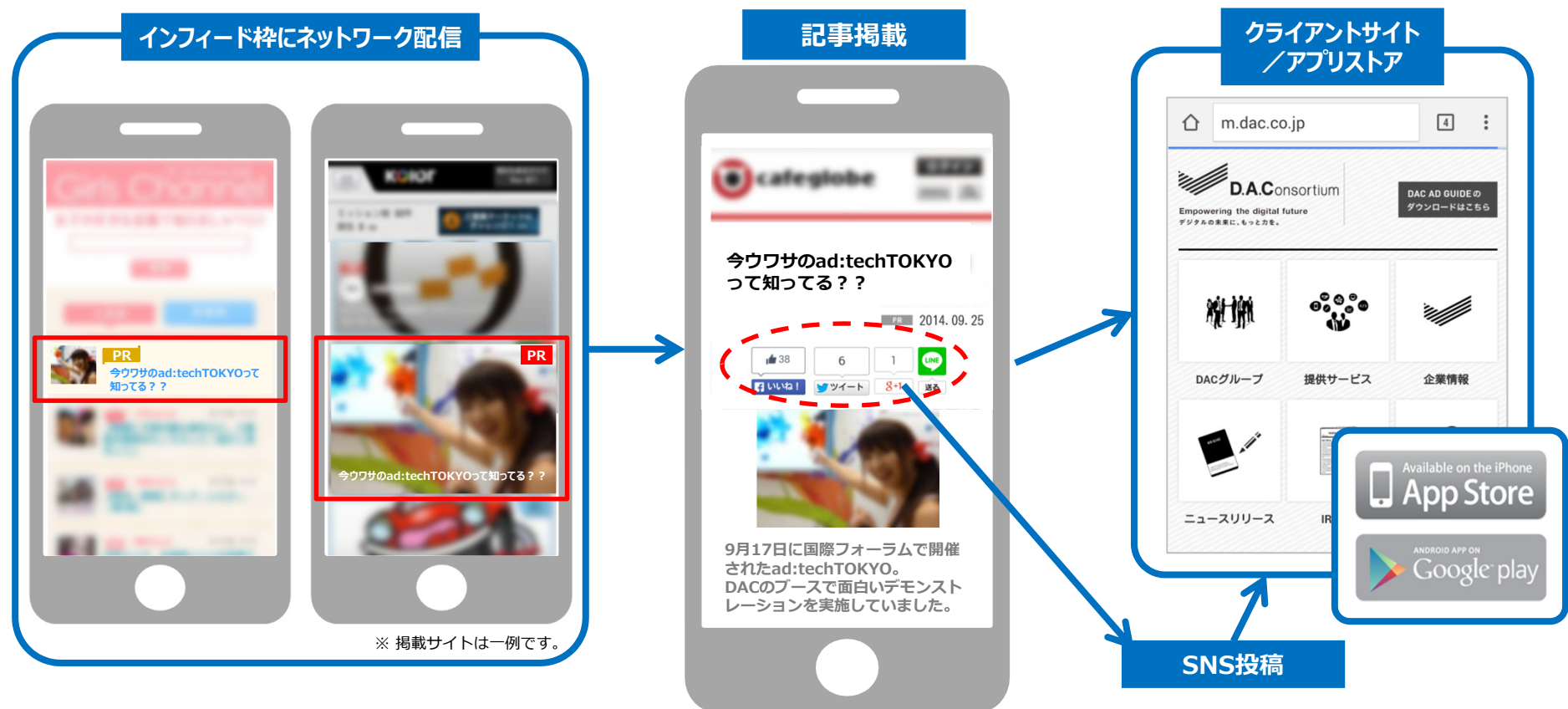


1 プレミアム広告商品の付加価値化 – ネイティブ広告

smarti Native Feed by D.A.Consortium

インフィード型の『ネイティブ広告』をネットワーク配信

オリジナルタイアップ記事制作により、ターゲットユーザーに“有益な情報”として
広告メッセージを届けるため、高いブランディング効果を実現



1 プレミアム広告商品の付加価値化 – メッセージ管理ソリューション



広告主企業とユーザーとの1to1コミュニケーションを実現するメッセージ管理ソリューション



- LINE社が開設した「**LINE ビジネスコネクト パートナープログラム**」に参加。
- DACを通じてLINE公式アカウントを申請した広告キャンペーンに対し、無償で「DialogOne」を提供し、広告会社と共同で導入と運用支援を行う。

1 プレミアム広告商品の付加価値化 – livepass社を持分法適用関連会社化



資本業務提携
+ 社外取締役派遣



livepass社が独自開発した**プッシュ通知プラットフォーム**を活用し、DACとの協業により、**日本初のプッシュ連動型広告サービス**を展開。

Act Ads 近日販売開始

国内の有力なスマートフォンアプリが参画する
プッシュ通知広告ネットワーク
全画面による動画もしくはバナーが選択可能

プッシュ通知



動画広告



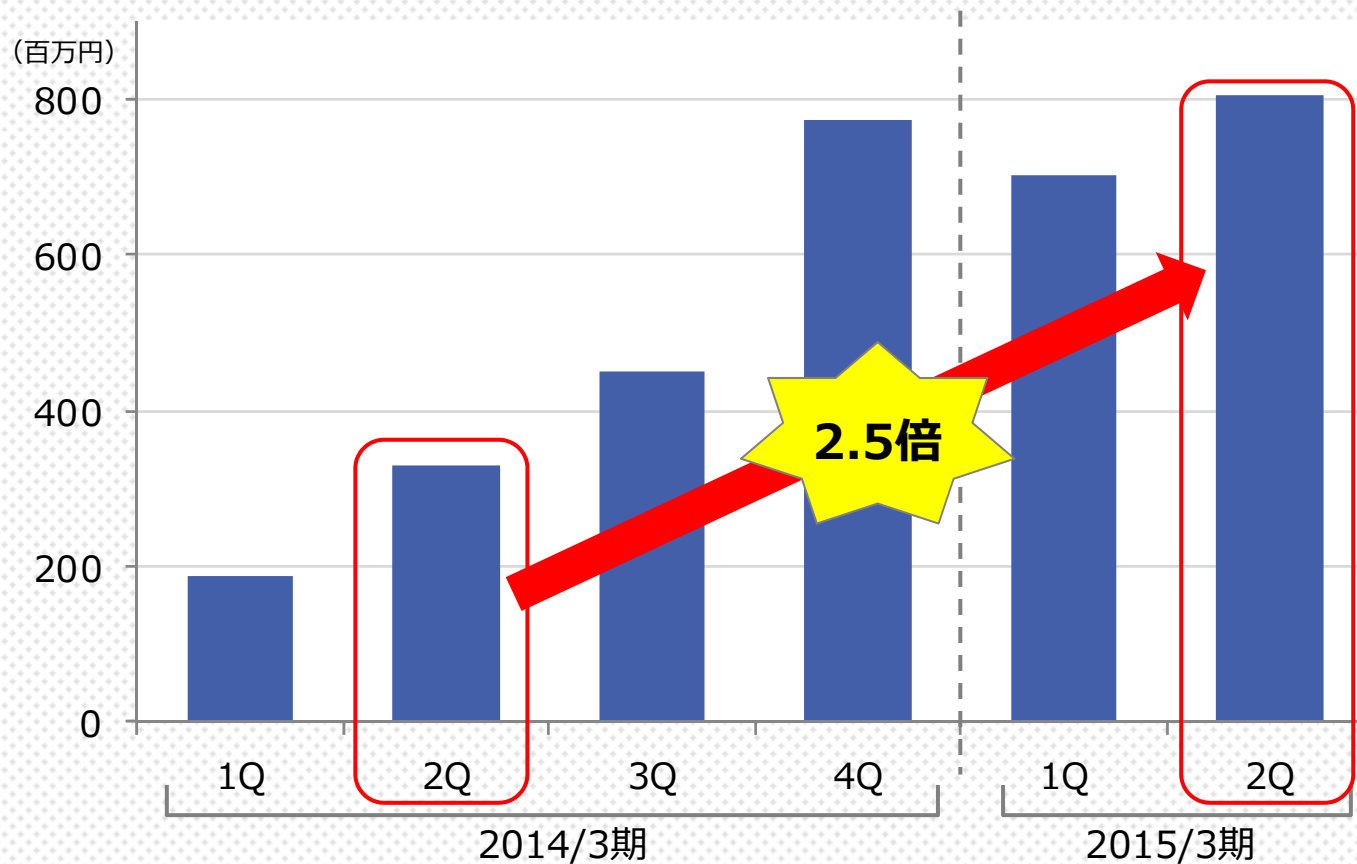
バナー広告



1 プレミアム広告商品の付加価値化 – 動画広告の拡大

動画広告 売上 (単体)

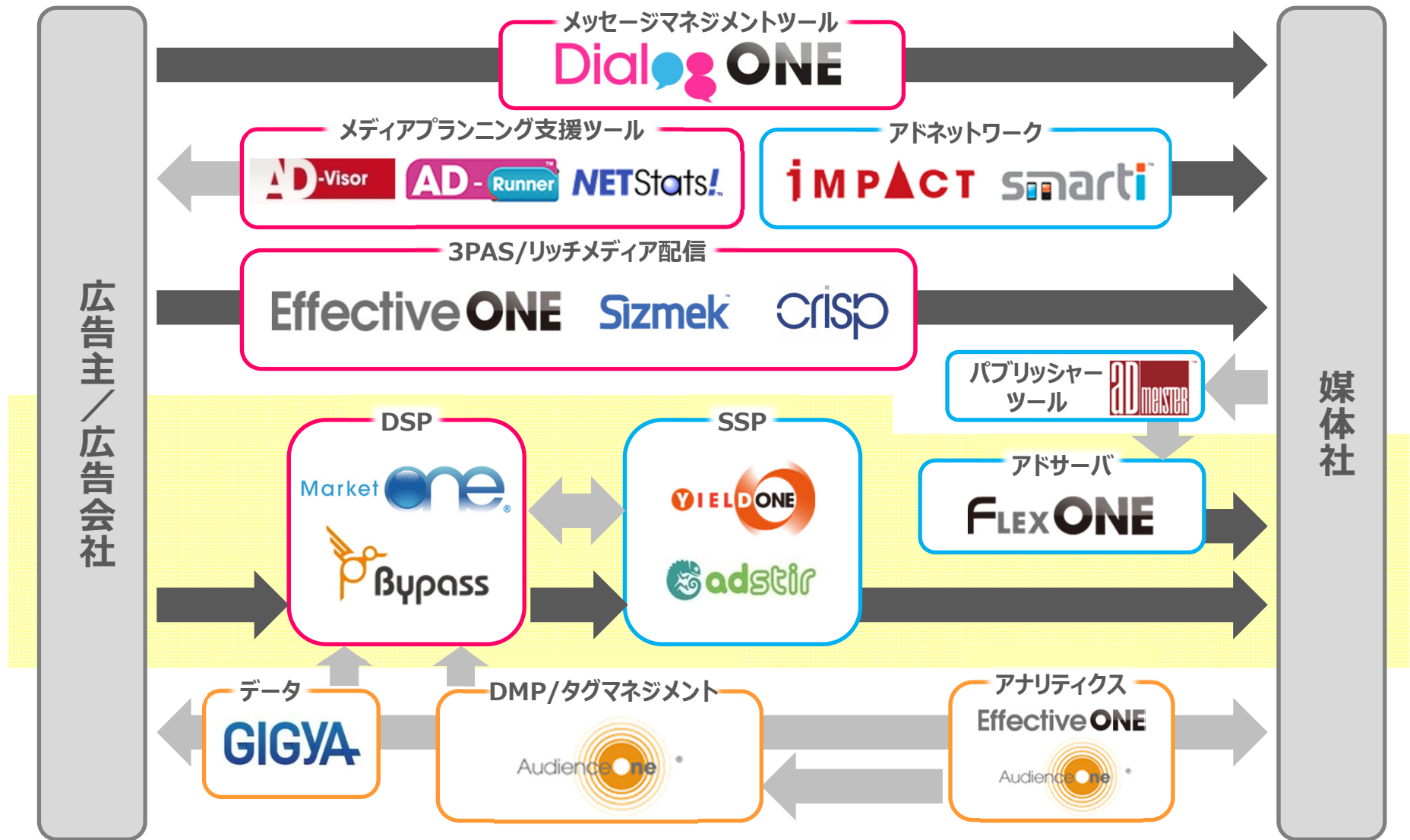
YouTubeをはじめとする動画サイトはさらに拡大。
運用型動画広告やインリードビデオなどの新しい動画広告も好調に推移。



2 運用型新市場への対応強化



◆ DACグループのアドテクノロジーラインナップ

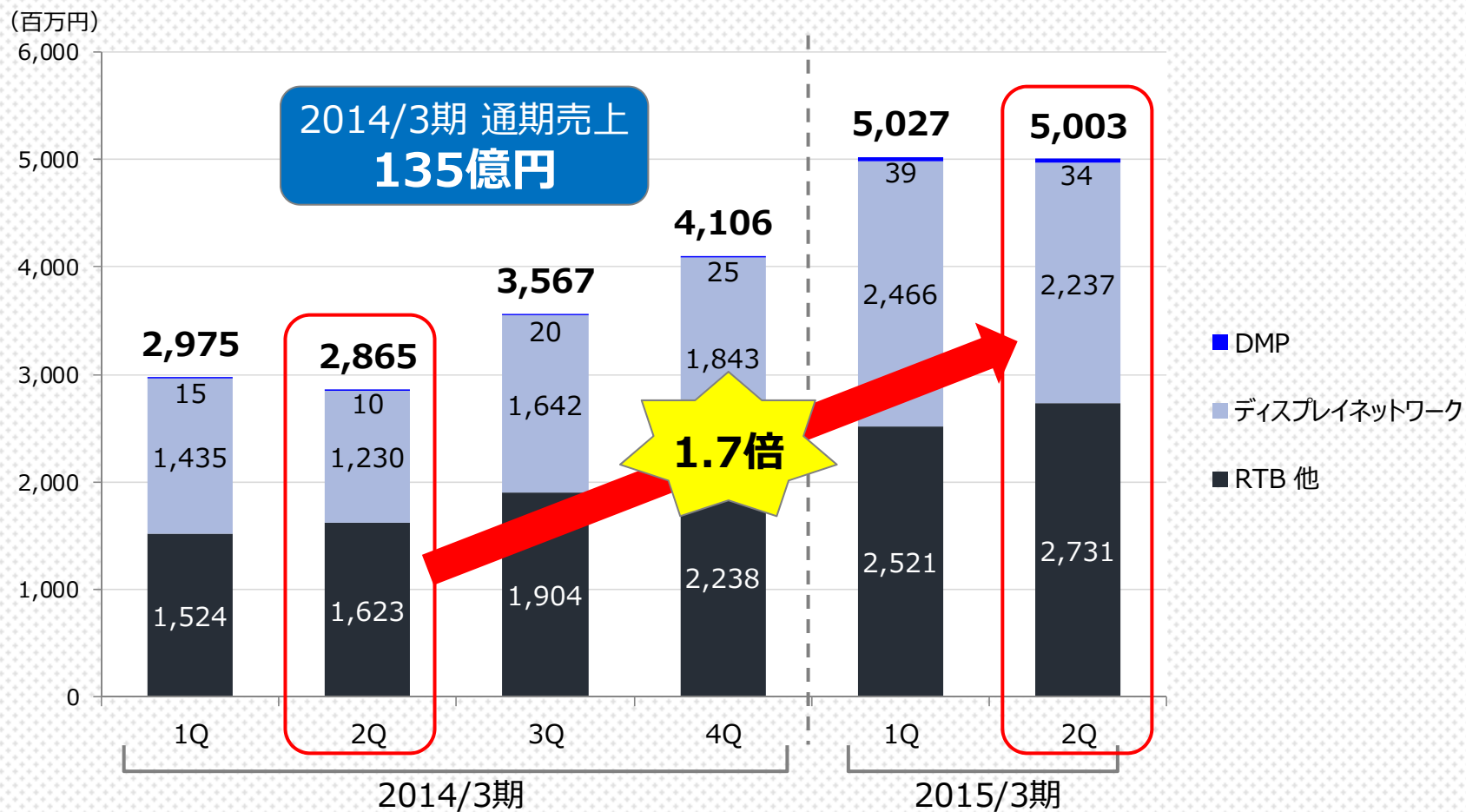


2 運用型新市場への対応強化 - 売上拡大

運用型新市場 売上高 (連結)

※運用型新市場 = 運用型広告からサーチ広告を除いたもの

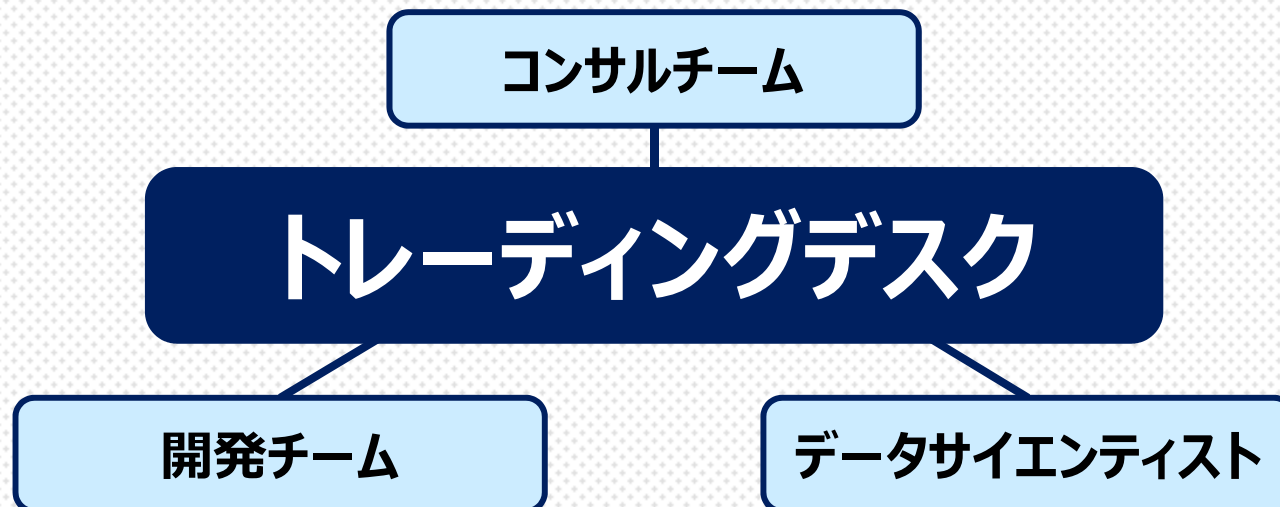
2014年度目標「**250億**」に向け、対応を強化。



2 運用型新市場への対応強化 – 圧倒的な運用体制

トレーディングデスクを中心に圧倒的な運用体制を実現！

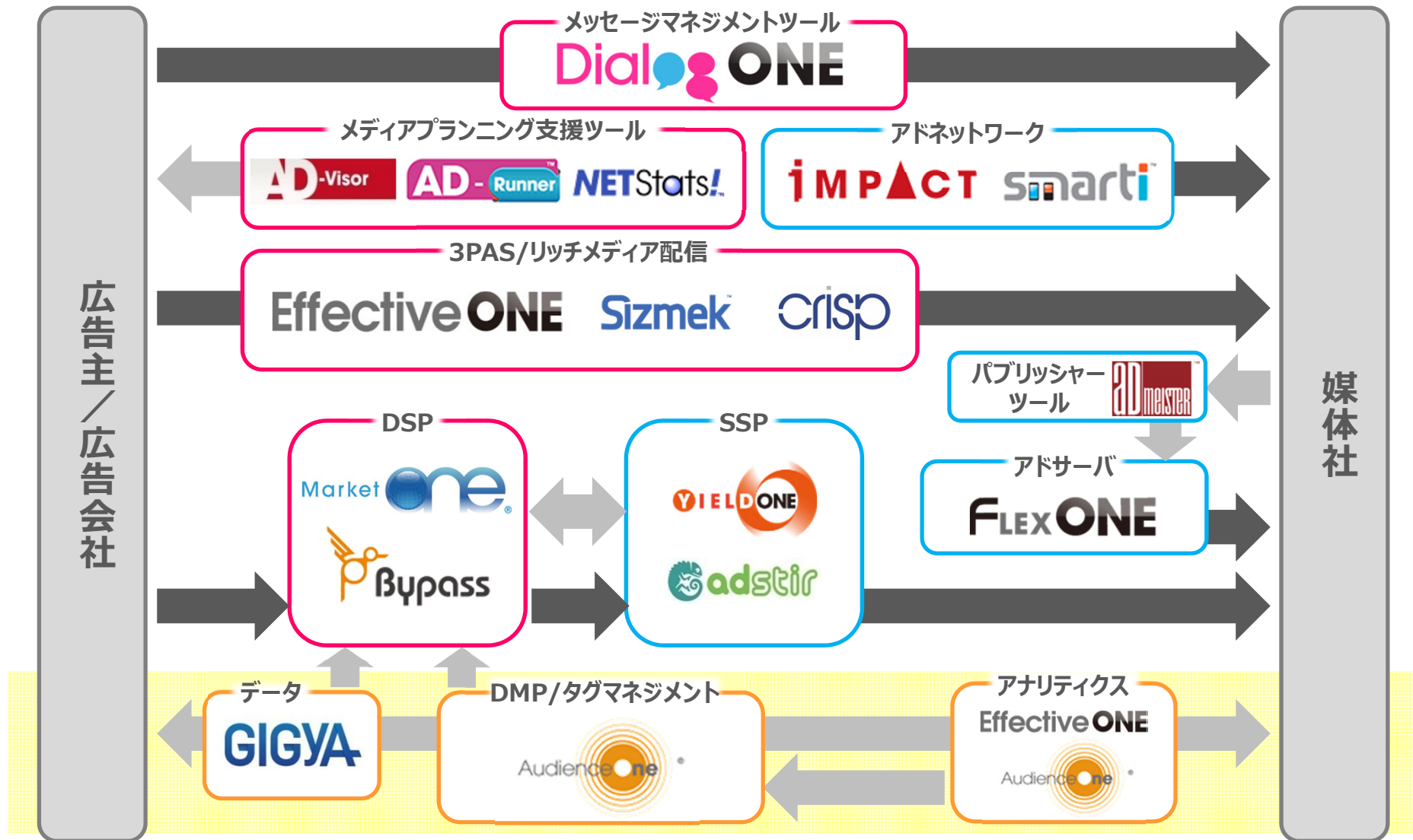
- ・ 200名強のスタッフが、クライアントのKPIに合わせて自社・他社問わず複数のDSPをトータル運用。
- ・ 全員がGoogle AdWords認定資格を取得し、オンライン広告のプロフェッショナル人材で構成。



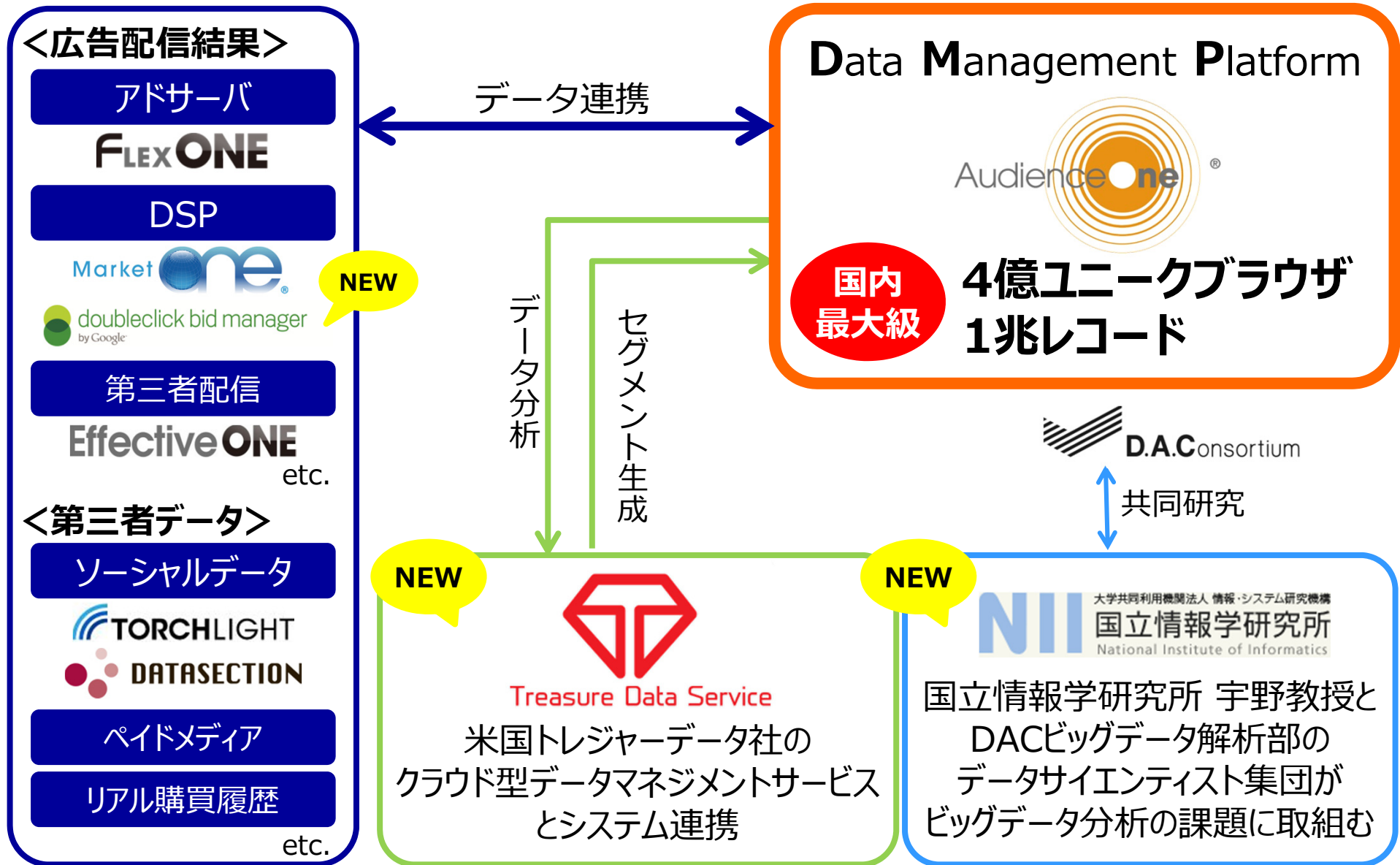
3 ビッグデータの活用



◆ DACグループのアドテクノロジーラインナップ



3 ビッグデータの活用 - データ分析・解析を強化





2015年3月期 第2四半期決算説明会

ご清聴誠にありがとうございました。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

J Q 4 2 8 1 <http://www.dac.co.jp>

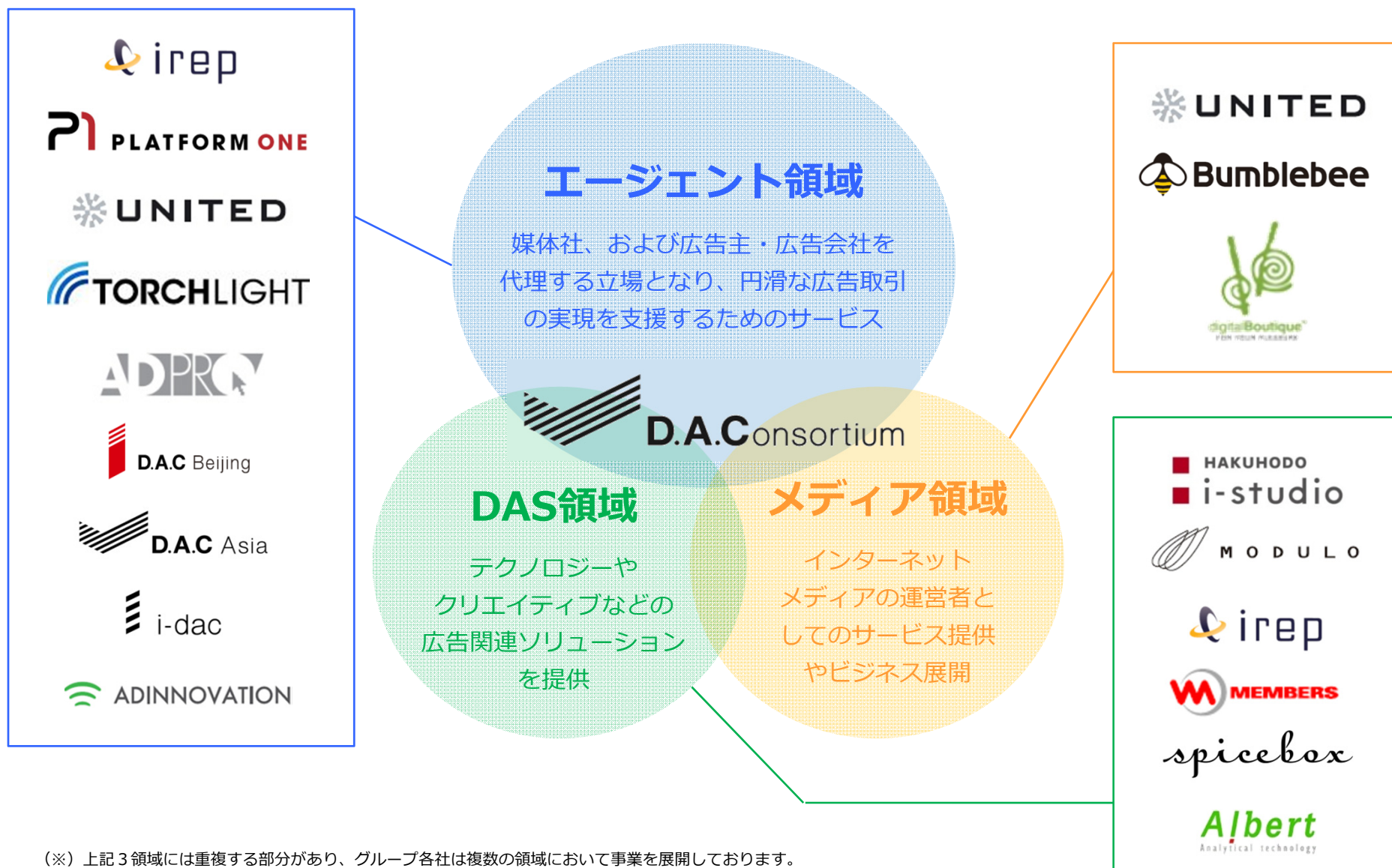
戦略統括本部 社長室

T E L : 03-5449-6300

2014年11月7日

ご参考

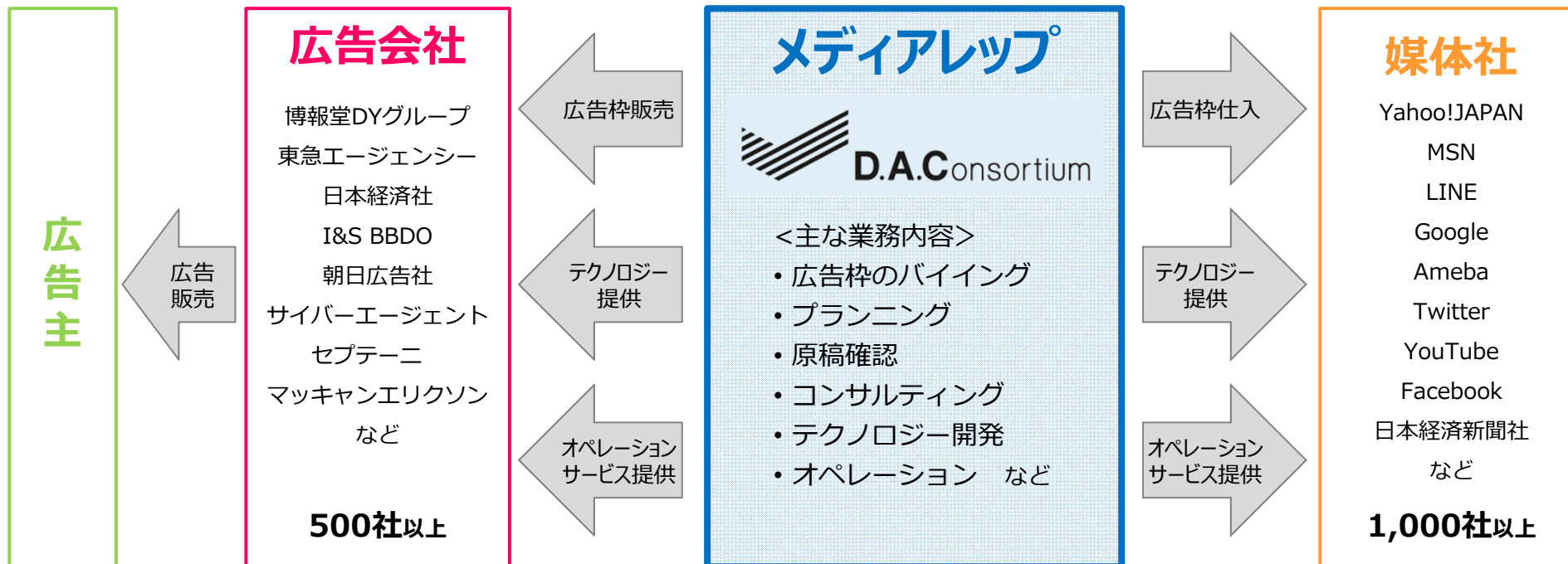
連結子会社の事業ドメイン



(※) 上記3領域には重複する部分があり、グループ各社は複数の領域において事業を展開しております。

DACの主なビジネスモデル

「メディアレップ」として、
インターネット広告取引に関するあらゆるサービスを提供



コンソーシアム体制

博報堂DYグループをはじめとした、
大手の有力な広告会社による
共同出資体制

+








インターネット広告のメディアレップ

媒体社と広告会社の間で、
インターネット広告取引に関わる
あらゆるサービスを提供

主要連結子会社（2014年9月末現在）

社名	保有比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)アイレップ <small>東証二部</small>	57.7%	リスティング広告、SEO、Web解析などのSEM関連サービス事業
 ユナイテッド(株) <small>Mothers</small>	43.4%	スマートフォンメディア事業およびRTB広告事業
 (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における制作業務、システム開発業務、CRM業務
 (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 (株)アド・プロ	100.0%	インターネット広告におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務
 (株)モデュール	93.5%	アドネットワーク事業及びデータマネジメント事業
 (株)トーチライト	100.0%	ソーシャルグラフィマーケティングの総合支援サービスの提供
 (株)Bumblebee	83.2%	スマートフォン・アプリケーションのメディア事業と広告プラットフォーム事業
 北京迪愛慈広告有限公司	50.1%	中国におけるインターネット広告事業
 DAC ASIA PTE. LTD.	100.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 I-DAC PTE. LTD.	85.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供

主要持分法適用関連会社（2014年9月末現在）

社名	保有比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)メンバーズ <small>Centrex</small>	19.0%	ウェブインテグレーション、インターネット広告代理事業等を通じたネットビジネス運営代行
 (株)スパイスボックス	34.4%	デジタル・コミュニケーション・デザインにおけるマーケティングおよびコンサルティング
 アドイノベーション(株)	18.0%	スマートフォンアプリに特化した総合マーケティング支援
 (株)ALBERT	17.8%	分析力をコアとし、独自開発のレコメンドエンジンや広告最適化ソリューションを提供
 (株)デジタルブティック	38.2%	コミュニティサイトの企画、制作、運営代行などの各種サービス事業
 livepass(株) (2014年11月～)	28.9%	スマートフォンアプリベンダー向けASP事業、スマートフォンアプリ分野での広告事業
 Innity Corporation Berhad <small>マレーシア証券市場</small>	25.1%	東南アジア地域におけるオンライン広告取引のプラットフォームおよびアドネットワークの運営

主な出資会社（2014年9月末現在）

社名	事業内容
 デジタルカタパルト(株)	PC・モバイル向けデジタルコンテンツ(コミック等)の制作・配信
 データスタジアム(株)	スポーツデータおよび関連ソリューションの開発・提供
 (株)ビデオリサーチインタラクティブ	ネット広告視聴率調査、広告効果測定ツールの提供
 (株)BrandXing	マーケティング、CRMコンサルティング
 (株)オウチーノ <small>Mothers</small>	不動産サイトの企画・制作・運営および広告代理事業
 (株)ボルテージ <small>東証一部</small>	デジタルコンテンツの企画・制作
 (株)mediba	モバイルメディアレップ、モバイルコンテンツの企画・編成・制作
 (株)ゆめみ	モバイルサービスの企画・開発・運営・コンサルティング
 (株)ココア	3D仮想空間サービス「meet-me」の運営
 (株)Origami	次世代eコマースプラットフォーム「Origami」の企画・運営
 ZEDO,Inc.	媒体社向けアドサーバーの開発・提供、動画広告フォーマットの開発・提供
 IPONWEB Holdings Limited	各種広告技術、広告技術クラウドサービスの開発、コンサルティングサービスの提供
 データセクション(株)	ソーシャルメディア事業、データクロール代行サービス事業、システムインテグレーション事業など

ブランドスローガン

Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。

- 刻々と変化するデジタル社会の未来に、活力を与える。
- これからのデジタル社会をよりアクティブにし、デジタルの更なる可能性を切り拓いていく。
- 人と人、企業と企業がデジタルを通じてめぐり逢い、共に新しい夢を描ける社会をつくっていく。

本資料のご利用にあたって

本資料は、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社の事業及び業界動向についてのデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2014年11月7日現在において利用可能な情報に基づいて、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社により2014年11月7日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業領域別売上高・売上総利益、販管費内訳、サービス別売上高・売上総利益、フォーマット別・デバイス別・取引手法別売上高、業種別売上高、大型広告主の動向、連結子会社の動向、連単倍率につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。